大商学園新聞

No.123
大商学園高等学校
新聞部
生徒会

卒業おめでとう！

校長　奥野　正巳

柔らかな春の気配が感じられる季節となりました。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

さて、今、旅立ちの時が訪れました。嬉しさと切なさが入り混じった複雑な気持ちがします。別れにあたり、私からの最後のメッセージを贈りたいと思います。

今日、皆さんが手にする卒業証書。その卒業証書はA4版の大きさの紙です。しかし、その一枚の紙の中に多くのものが詰め込まれています。担任の先生から貰う卒業証書をじっと見て下さい。

一番最初に番号が書かれています。この番号は何だと思いますか。この番号はあなただけの番号です。その番号はいつから続いているのか。それは、大商学園の百三十年前の第一回卒業生から、明治、大正、昭和、平成と百三十年以上ずっと続いている番号で、卒業生の人数を表しています。例えば、一万二千三百二十四番と番号が書いてあれば、あなたは第1回目の卒業生から数えて一万二千三百二十四番目の卒業生なのです。その番号こそが、大商学園の歴史とも言えます。あなたは、大商学園の歴史の1ページに名前を刻むことが出来たのです。あなただけの番号、あなたは大商学園の歴史と伝統の中にいるのです。

次に「卒業証書」と書かれてあります。この証書は高校3年間の学びが全て終了したという証なのです。しかし、卒業証書は、高校が終わったことの証明書ではなく、これからの人生への入場券であると思って下さい。新しい社会への参加許可証であります。

次に、あなたの名前が書かれています。世界であなただけの卒業証書なのです。だからこそ、ここに、しっかりとあなたの名前が書かれてあるのです。その名前をじっと見て下さい。その名前は誰が付けたのか。名前にはどんな意味があるのか。お父さんやお母さんの思いがその名前に詰まっています。きっと、あなたへの限りない愛情と成長していくあなたへの思いを込めた名前だと思います。「心の優しい思いやりのある子どもに育ってほしい」「多くの人たちに勇気や希望を与えられるような子どもに育ってほしい」など、お父さんやお母さんの思いがその名前に詰まっています。ぜひ、今日はお父さんお母さんに自分の名前の意味を聞いて下さい。そして、自分の名前を誇りに思ってください。今まで、その名前を高校生活で何回呼ばれてきたでしょうか。卒業証書授与式の時、担任の先生が高校生としてのあなたの名前をしっかりと呼びます。あなたはもう卒業です。担任の先生があなたの名前を呼ぶのは今日が最後です。担任の先生にとって、3年間で今日は一番寂しい日なのです。もう高校生としてのあなたの名前を呼ぶことは出来ないのです。

次には、あなたの誕生日が書かれています。ここに書かれている日に、あなたは生まれてきたのです。そして今日まで生きてきました。いろいろなことがあったと思います。しかし、あなたはどんな困難も乗り越え、今日、卒業式を迎えることが出来ました。ここに書かれている誕生日、その日はどんな日だったでしょうか。天気はどうであったでしょうか。寒かったでしょうか、暑かったでしょうか。あなたは覚えていないと思います。しかし、お父さん・お母さんはあなたが生まれた日のことをしっかりと覚えています。お母さんは、あなたが生まれた瞬間、感激で涙が止まらなかったと思います。「生まれてきてくれてありがとう」と心の中で何回も叫んだと思います。お父さんも、おじいさんも、おばあさんも嬉しくて泣いていたと思います。家族のみんながどれほど喜んでくれたことでしょう。あなたの命が生まれた日なのです。あなたを心から大切に思いながら、今日まで育ててきました。あなたは、家族の宝物なのです。

今日までのことを振り返ってみて下さい。夜泣きをして寝付かないとき、ずっと寝ないであやしてくれたのは誰なのか。小学校の入学式の時、みんなと同じように、服やかばんを用意し、心から入学おめでとうと言ってくれたのは誰なのか。風邪やインフルエンザで熱が出たとき、夜中に、あなたを抱きかかえながら医者を探し回ったのは誰なのか。毎日毎日、朝早くから起きてお弁当を作ってくれたのは誰なのか。部活動の試合の時、遠い試合会場までわざわざ応援に来てくれたのは誰なのか。「あなたなら出来るから大丈夫」とあなたを励ましてくれたのは誰なのか。あなたの命が生まれた日から今日までずーっと、あなたを見守っていてくれたのは誰なのか。しっかりと胸に刻みこんで下さい。

そして、卒業証書の真ん中には、皆さんが高校の課程を修了し、卒業したということが大きく書かれています。そして、その日は、平成31年2月19日、今日です。人生の中ではいくつかの節目というものがあります。今日はその節目の一つなのです。次へのステップの節目なのです。人生は節目があるからこそ、次の成長があるのです。今日を境に、皆さんは新たなスタートをするのです。人生これからです。勇気と自信を持って、素晴らしい人生を歩んでほしいです。

最後に、私の名前があります。私からの最後のメッセージがこの卒業証書でもあります。

最後に、もう一つ、私が好きな歌を贈ります。シャンソン歌手クミコの「最後だとわかっていたなら」です。この歌は、平成23年の東日本大震災の後、東北地方でリクエストが殺到した歌です。

今日という日が最後だと分かっていたら
言えない「あなたを愛している」と私は伝えただろう
あなたが眠りにつくのを見るのが最後だと分かっていたら
その魂を守れるように神様に祈っただろう
忙しさを理由にあなたの喜ぶ事を
例えば、そっと微笑む事さえ
何故出来ずに来る日を過ごしたのだろう
「ごめんね」「許してね」「ありがとう」そんな気持ちを
時を惜しまず　伝えられたら
きっと　今日を後悔しなかっただろう
今日という日が最後だと分かっていたら
言えない「あなたを愛している」と私は伝えただろう

卒業生の皆さん！これから、辛いこと、寂しいこと、苦しいことがあると思います。しかし、どんな時でも、必ず誰かがあなたを温かく見守っています。今日という一日を大切に生きて下さい。

学校改革！ ブラッシュアップweekの導入

2020年の大学入試改革に伴う教育改革の一つとして、2018年度は「ブラッシュアップweek」と称した検定試験取得に向けた取り組みが実施されました。

現行の大学入試の大半は、入学直前に実施する試験に基づく成績で合否を決める、結果を重視したものです。しかし、今後は結果だけでなく、過程も重視した試験へと改変されます。「ブラッシュアップweek」は単なる資格取得ではなく、学習習慣の確立と高校生活における取り組みの記録を目的としています。

2018年度は「GTEC」、「漢検」、「N検」の3つの試験に取り組みました。平常の授業に加えて、検定試験実施前の数日間を重点学習期間として7限目を設け、各検定試験に向けた対策を行いました。

◆GTEC（ベネッセコーポレーション）

「Global Test of English Communication」。英語の「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をスコア型の絶対評価で測定する試験。スピーキングを除く3技能を、全校生徒が受験（3年生特進コースはスピーキング含む、4技能全てを受験）。校内で上位者は、国際指標CEF−R「A2」レベルのスコアを修得。

GTEC校内トップ20

順位	学年組	名前
1	3-13	藤瀬　虹歩
2	3-3	中田　真央
3	2-1	田上　裕堂
4	3-13	井上　沙季
5	3-1	宮脇　拓斗
6	2-1	岡　龍信
7	2-8	佐原　里佳
8	3-1	坂本　舜太
9	3-5	徳村　啓太
10	2-4	夢野凌太朗

順位	学年組	名前
11	3-4	髙井　彪雅
12	3-1	漆間　聡
13	3-12	峯本　慶太
14	2-13	山本 ジェビダィアー 樹音
15	3-1	栗原　梨花子
16	3-3	吉國　大地
17	3-8	籔原　典
18	3-1	井川　栞
19	3-1	大西　佳祐
20	1-1	島谷　憲弥

◆漢字検定（日本漢字能力検定協会）

漢字の読み書きだけでなく、語彙力が問われる試験。大学入試では、高校卒業の2級レベルだけでなく、4級や3級といった中学校レベルの漢字も問われる。4級に109名、3級に98名、準2級に15名がそれぞれ合格。

◆ニュース時事能力検定（日本ニュース時事能力検定協会）

現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、その課題をみんなで解決していく礎となる総合的な力（知識、思考力・判断力など）が求められる試験。4級に380名、3級に283名がそれぞれ合格。

※漢検、N検の3級以上の合格者については、8ページに記載しています。

待望の新校舎、3月末に竣工

現在、旧2号棟・3号棟跡地に建設中の新校舎がまもなく竣工します。

2号棟と3号棟の歴史は古く、最初の構造が完成したのは昭和37（一九六二）年のことです。幾度となく増改築を繰り返しながら学びの場としての使命を担ってきました。昨年の1月に解体工事が始まり、哀惜と感謝の意に包まれながら、多くの生徒が過ごした校舎は、役目を終えました。

二〇一八年度の丸一年を費やして建設中の新校舎は、1月末現在外側は完成し、最終段階の内装工事が急ピッチで進められています。3月中には完成し、新年度の4月から大商学園の新たな学びの場として、生徒たちを育んでくれることでしょう。

新校舎は鉄筋コンクリート造5階建、HR教室や職員室の他に、音楽室や情報処理教室などの特別教室が設置されます。また、体育館や多目的教室なども設けられ、授業だけでなく行事やクラブ活動の充実が期待されます。

卒業生に贈る言葉

From the teachers to the graduates

3年学年部長　白永　明先生

平成最後の卒業生諸君。卒業おめでとう。皆さんは3年という月日の中で幾つのことに挑戦したでしょうか?そしてその結果、どんな一喜一憂をしたでしょうか?「やればできる」という言葉を信じて達成しそれを実感した人がいれば、他方では思うように出来ず何も信じられなくて絶望した人もいたと思います。私から見ればどちらの体験も素敵だと考えています。先人たちが残した言葉の中で、人生の後悔について聞かれたとき、そのほとんどが「なぜあの時、挑戦しなかったのだろうか」だそうです。これから若たちが歩む道はとても長く、交差点がたくさんあり、その都度決断を迫られるような道だと思います。道に迷ったときは恥ずかしがらず・怖がらずに多くの人に相談しましょう。たくましく生きる力を身につけ、自らを見失わず信念を貫き通すことができる人間になってください。そして自分の力とこれまでの努力を信じ挑戦し続けてください。いつまでも応援しています。

3年1組担任　浅野　真司先生

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年間の高校生活はどうでしたか。楽しいことや嬉しいこと、嫌なことや苦労したことなどいろいろな経験をしたと思います。勉強や部活動、人間関係など良い時もあれば、思うようにいかない時もあったと思います。この高校生活で経験したお事は人生の宝物です。必ずこれからの人生でみんなの力になってくれます。そのかけがえのない経験を大切にしてください。

卒業するという事は、高校生活の終わりであると同時に新たなステージのスタートでもあります。たくさんの新しい出会いがあり、新しい経験をすることでしょう。高校生活の成長とはまた違った形の成長をしてくれると思っています。一回りも二回りも成長したみんなにまた、会えることを楽しみにしています。3年間という短い期でしたが、みんなに出会い、一緒に様々な経験ができたことに感謝しています。本当にありがとう。また、会う日まで。

3年2組担任　亀山　英志先生

いよいよ本当に卒業ですね。「おめでとう」の言葉と同時に、「もう卒業してしまう」という一抹の寂しさが漂う日々です。日々の授業、行事、クラブ活動など、みなさんとの学校生活全てがとても充実したものでした。みなさんと出会えたことに本当に感謝です。ありがとう。

大商学園は、日常生活の小さな物事に対して、常に一生懸命に取り組む学校だと思います。静黙集合・週末課題・挨拶・清掃……、どれをとってみても、決して刺激的で派手な取り組みではありません。また、正直決して楽しいものでもありません。でも、このような日常的で小さな物事に懸命に取り組む姿こそ、人が人であるために最も必要なことなのだと思います。

「生徒」と呼ばれた年月が終わりを告げ、否が応でも社会の荒波にもまれていくこれからですが、大商学園で培った「人間力」を武器に、力強く羽ばたいて下さい。

卒業おめでとう!

3年3組担任　林　孝則先生

鴨長明が『方丈記』に遺したように、古来、人生は「旅」に例えられてきました。

「旅」という字は、人々が集まって旗を掲げ、安全を祈願する儀式を表していると考えられています。「旅」と同じ部首をもつ「旅」や「族」も一つのグループを意味し、戦乱にあった古代中国においては、人々は安住を求めて移動し続けたと言われています。奇しくも、ラテン語に起因する「travel」も拷問する道具を原義としており、英語において旅は苦しいものと考えられていたそうです。

さて、3年生の皆さん。この大商学園で過ごした3年間は、どのような「旅」だったでしょうか。必ずしも良いことばかりではなかったはずです。しかし、不思議なことに、人間は苦があるから故に楽を感じられる生き物。必死で勉強した結果の成績、猛練習で手にした勝利、ケンカしたあとの強い絆…。3年間で経験した苦は、決して無駄な苦ではありません。もしろ、苦なく得た楽よりも、価値のある楽だと思います。

旅路の果ては遥か彼方。これから先の人生において、多くの苦難が待ち受けているでしょう。是非、苦難を乗り越えて、「旅」を楽しんでください。3年間、皆さんと共に旅をできたことに感謝します。卒業おめでとう!

3年4組担任　山田　勝也先生

卒業おめでとうございます。君たちにとってどんな三年間だったでしょうか。思い返せばたくさんの経験を重ねてきましたね。入学してきた頃を思い返すとよくでもないことがありましたね。課題の提出について担当の先生に尋ねると10人くらいと言われ、未提出が10人だと思ったら、提出した人数だったのには驚かされました。学級内で何かにつけて言い合いをしては険悪な空気を作っていたことも覚えていますかあれからも三年が過ぎようとしています。提出物を出せるようになり、お互いに認め合えるようになったのではないでしょうか。当たり前のことを当たり前にできるようになったのではないでしょうか。検定試験合格を目指したこと、文化祭に取り組んだこと、競技大会や体育祭で勝ちを狙ったこと。卒業制作は力合わせて頑張れば考えた通りにモノを作りだせる良い経験だったと感想を言っていましたね。いろんな場面で面倒だと言いながらも、前向きに取り組んで少しずつ真剣になっていく君たちを見ていて素直に嬉しい思いでした。しっかりしたアイツも、いい加減なコイツも、みんなが次の段階へ進むときです。楽しいときも苦しいときも精一杯やれば大きな成長が待っていることを君たちはもう知っているはずです。これからの活躍を応援しています。

3年5組担任　青野　園子先生

卒業おめでとうございます。皆さんにとって、どんな3年間だったでしょうか。楽しかったこと、苦しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、一番の思い出は何ですか?

今から少しだけ前（笑）私も皆さんと同じ高校生でした。今でも一番心に残っていのは、いつ何ごとが起こるか分からないくらい大変な暴言です。「ババは不細工だから、試合見に来んといて」…まぁなんと驚くべき破壊力。父は何も言いませんでしたが、これは中高ソフトボール部の私が今までの人生で打ったどんなヒットよりも鋭い当たりで、父の心をぶちのめしました。大切な人に「ごめんなさい」を言えなかったこと、その後悔がはずす一番に高校時代の思い出として残っています。

どうやら私たちは、一番大切であるはずの身近な人にほど「ごめんなさい」の一言が言いにくいようで、私のようにほぼ10年を要したひねくれものの重症患者もいます。それでも私は、やっぱり「ごめんなさい」をきちんと面と向かって言葉で伝えることにこだわります。

「誤ちて改めざる、是を過ちと謂う」という言葉があります。人は誰でも間違うものですが、それを認めず改めようとしないことこそが本当の過ちだという教えです。大人になるにつれて、自分の変なプライドが邪魔をして謝れない人がいます。「ごめんなさい」この一言を素直に言える人は、相手を尊重している人です。人間だもの、誰だって間違えることがあります。間違うのは人間らしい証です。なら、そのときには人間らしい行動をとりませんかさきちんと言葉で伝えることが大切だと、私は感じます。

卒業するみなさんへのメッセージが「ごめんなさい」の大切さについてだなんて、変だなぁと思われるかもしれませんが、将来もっと素敵な人間関係を築く鍵になるはずです。

さあ、今日からまた新しいスタートです。たくさんの「大切なもの」に出会い、ときには寄り道もしながら、素敵な人生を送ってください。10年後も20年後も、どうかあなたたちが幸せでありますように。

心から願っています。

3年6組担任　下地　生実先生

皆さんご卒業おめでとうございます。今、色んな思い出を振り返っているのではないでしょうか。

ここから始まる新生活は、大人としてこれまで以上に自分の世界が広がります。そこには楽しいことや嬉しいこともありますが、これまで以上の困難にぶつかることもあります、そして何事にも大人としての責任が伴います。今まで守られていたことを少し振り返り、自覚を持った大人として次のステージに進んでほしいです。

論語に「子曰く、之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」とあります。物事について単に知っている者は、それを好む者に及ばないし、それを好む者だって、それを楽しむ者には及ばないという意味です。私はこれを、特に困難な場面でなんとなく意識している気がします。全てのことについて当てはまるとまでは言いませんが、楽しもうとする気持ち一つで得られるもの、見えるものが違ってくることは多くあると私は思います。皆さんの新しい場所での更なる成長を期待しています。

3年7組担任　坂本　稔記先生

卒業おめでとうございます。私事ですが、今年度の話題と言えば、NHK 大河ドラマ「西郷どん」です。私の故郷、鹿児島の偉大である西郷隆盛のドラマでした。鹿児島弁がわかるだけに、毎回視聴しました。桜島のふもとで育った私にとって雄大にそびえる桜島山も誇らしく映りました。

さて、生涯勉強と言われます。私は西郷隆盛の人となりや歴史の事実、著名な登場人物について学びました。本ッて調べ直すこともしました。自分の中で、科目として学ばなかった歴史を同郷の人物に興味が湧いたことがきっかけで学習したように思います。ドラマを通して歴史を作り変える人のすさまじいまでの生きざまを知りました。

これから先、君たちは自分の歴史を一歩一歩作っていきます。様々な事が巡ってくるでしょうが、皆さんの前途が輝かしいものになることを心から祈っています。

3年8組担任　堂浦　博志先生

『あの坂をのぼれば・・・・・』

心が折れそうな時に思い出すフレーズがあり、杉みき子先生が書かれた「小さな町の風景」という作品の中にあります。

『あの坂をのぼれば、海が見える。』という祖母の言葉を信じ、少年が海を見たい一心で歩き続けるという内容です。

途中でもうやめようと諦めかけながらも何とか歩き続け、最後にやっと海鳥の声や潮騒の音を耳にするというところで話は終わります。

最後まで海は見えてはこないが、海鳥の声や潮騒の音に勇気付けられた少年は、この先のどんな困難にも立ち向かっていける強い意志と、最後まで投げ出さずにやり遂げる力を手にしたと思います。

そして「やり切ればきっといいことがある」そんな希望を感じていたことでしょう。

私自身も、どうにもならない場面に出会ったときに「あの坂をのぼれば海が見える。」と言い聞かしています。この言葉に幾度も勇気をもらい、また前に進み出すことできました。

頑張る事の意味を思い出させてくれる素敵な詩で、改めて何事にも精一杯取り組める人間でありたいと思います。

さて、皆さんも大商学園高校でかけがえのない時間をかけがえのない仲間と共に過ごし、全力で高校生活をやり切りました。

この「やり切る」経験をたくさん積み重ね、習慣化することで、どんな困難な問題に直面しても「自分ならできる」という自信が生まれると思います。

「もうこれ上はない」、そう思えるくらいやり切った先に、わくわくする未来が待っていることでしょう。

『あの坂をのぼれば、海が見える。』

『卒業おめでとう』

3年9組担任　坂井　史徳先生

三年生の諸君、卒業おめでとう。

今旅立つ君たちに、私が好きな歌「ともに　WANIMA」を送りたいと思います。

どれだけ過去が辛くて暗くても　昨日よりも不安な明日が増えても
悩んだり泣いたりする今日も　進め君らしく　心踊る方
別れ道に立つ　ともに唄う　重ねた日々は変わらず残る
千切れそうな今鍵い合わせ　思い出したあの頃
あたりまえのいつもの笑顔　平気なフリに何度　騙された?
何気ない一言でさえ…　後悔してるいま頃
出逢えてよかった　ありがとう
この想いよ　届け
涙こらえ笑って生きてる　崩れそうになりながら毎日びびってる
疲れ果てるまで繰り返す　きっと　ずっと
どれだけ過去が辛くて暗くても　昨日よりも不安な明日が増えても
悩んだり泣いたりする今日も　進め君らしく　心踊る方
個々に辿り着くまでに　色んな景色をみて来たんだろう
待ち焦がれていた　出逢えてよかった　ありがとう
この想いよ　届け
涙こらえ笑って生きてる　崩れそうになりながら毎日びびってる
疲れ果てるまで繰り返す　きっと　ずっと
どれだけ過去が辛くて暗くても　昨日よりも不安な明日が増えても
悩んだり泣いたりする今日も　進め君らしく　心踊る　その先には幸を…
生きて耐えて時に壊れ泣いて迷う影に笑顔咲き誇る　生きていれば…命さえあれば…
前に前に前に上に上に　冗談じゃない　まだ諦めてない
全て追い越して　何もかも置き去りに　思い描いたその先へ…

時間は戻ってはこない。時間を大切にするためにも、いろんな事を考えて自分らしく生きて欲しい。人間は失敗する。そこで、その失敗をよく考え、反省し、決して諦めずに次の成功や幸せに繋げようとする事こそが大切で、これからの人生に必要なものだと私は思います。最後に、君たちに出逢えて本当によかった。ありがとう。

3年10組担任　公文　真衣先生

卒業おめでとうございます。「平成」という時代しか知らない皆（私もですが…!）とともに、この平成が終わる節目に卒業式を迎えられることをとても嬉しく思います。これから新しい元号になりますが、呼び方が変わるだけでなく、世の中も大きく変わっていくことでしょう。周りの環境も変わり、変化していく世の中を自分の足でしっかり踏みしめて歩んでいってください。みんなとともに過ごしてきて、一人ひとりの大きな力に触れてきたのであります。みんなには力があります。勉強ができる・できないとか、運動ができる・できないとかではなく、人としての暖かさがあり、生きていく力があります。これからもパワフルなみんなを陰ながら応援しています。たくさんの学びをありがとうございました。

「花のように　花のように　ただそこに咲くだけで　美しくあれ」（花：中孝介）

3年11組担任　山内　真由美先生

卒業おめでとうございます。

今、3年間を振り返ってみて、いかがだったでしょうか。

楽しかった大商、しんどかった大商、面白かった大商、つらかった大商、大商学園で様々な経験をされたと思います。その大商での一つ一つの経験が、皆さんがこれから進む人生での生きる力になると思います。

3年11組を担任すると決まった時に、1年生でも2年生でも関わったことがない学年で、初めて出会うメンバーと、どう過ごしていこうかと考えていましたが、なんとなく自然に話していけたのが嬉しかったです。また1年にも満たない期間でしたが、皆さんからたくさんのことを学ばせてもらったなあと思っています。

これから皆さんは、それぞれの道を歩んでいきます。人生は失敗と成功の連続で、失敗の方が多いかもしれませんが、へこたれず、常に笑顔で健康で前を向いて進んでいって欲しいと願っています。

一期一会、皆さんと出会えたことに感謝します。ありがとう!

3年12組担任　奥島　崇司先生

三年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

卒業するということは、新しい環境に巣立つということです。その先には厳しいことも辛いことも、今まで以上に待ち受けていることでしょう。もし、厳しいことや辛いことに遭遇し、何かに迷ったときは、大商学園に戻って来て下さい。その時を楽しみにしています。

3年13組担任　佐田　丈志先生

卒業おめでとうございます。あなたの今の目標は何ですか?

本気で叶えたい目標を常に持ってください。大人になっても、何歳になっても目標を常にもっていてください。目標を持っている人は成長します。成長のスピードが加速します。そして目標を叶える為に自ら行動して下さい。行動を起こすことで人生に変化をもたらします。ただ待っているだけでは人生は変わりません。自ら一歩で掴み取りに行ってください。

目標が高ければ高いほど失敗する可能性も高まります。失敗しても良いのでチャレンジしてください。たとえ失敗しても一生懸命取り組めば、その失敗から得るものが必ずあります。失敗を恐れて何も行動しない事が一番の失敗です。失敗から学び同じ失敗を繰り返さないようにそれで良いのです。

行動は明日ではなくて今日行動してください。目標があれば行動が具体的になります。具体的な行動から具体的な結果が生まれます。目標があると辛い事にも耐えられ、人間的にも成長します。目標がなく漠然と生きていたら時間がもったいないです。

みなさん一人一人に非凡な才能が必ずあります。この世に生まれたみなさん一人一人に世の中に貢献できる役割が必ずあります。ただ、18歳ではまだその才能や役割に気付いていなくても構いません。

その役割や才能に気付くためには、日々一生懸命目の前のことに全力で取り組んでください。そうすることで少しずつ少しずつ霧が晴れるように自分の才能や役割が見えてきます。それは何歳になるかわかりません。ほんやり生活していたら一生見えないかもしれません。

人生にはいろんな可能性が秘められています。自分を過小評価せず、人生欲張って大きな夢や目標を掲げてください。本気になれば何でも可能です。成長したみなさんに会えることを楽しみにしています。

卒業生の言葉

3年1組（特進Ⅰ類）　栗原　梨花子　「高校生活を振り返って」

高校生活三年間を振り返ると、自分が行きたかった場所ではなく、目標のない状態で特進Ⅰ類コースに入学しました。しかし、一年生の頃から大学についての説明や自分の将来について考える機会がたくさんあり、真剣に考えようと思いました。大学がどのような場所であり、何を学べるのかをいろいろと知っていくうちに大学へ行きたいという気持ちが強くなりました。特進にいるから勉強するのではなく、大学に行くという目標のために勉強しようと意識を変えました。最初は定期試験や進研模試、スタディサポートなどの外部模試で思うような結果が出ませんでした。しかし、少しずつ努力するうちに今まで取れなかった点数が取れるようになり自分でも努力すれば結果が出るんだと嬉しく思いました。放課後や長期休暇中にあった講習や一年、二年の夏休みにある勉強合宿などはとてもしんどかったですが終わった後の達成感はすごくあり、今考えるとその時頑張っていて良かったなと思います。

一番思い出として残っているのは、アメリカ・ロサンゼルスへの修学旅行です。日本との文化の違いや現地の英語に直接触れ異文化への興味、関心が強くなりました。また、ホームステイを経験しました。しかし、日常会話の英語でさえ、あまり理解できず、自分の意思を伝えることがほとんどできませんでした。そのことがきっかけで、英語の勉強をもっとしなければいけないなと思い、英検取得への勉強意欲にも繋がりました。

高校三年間は勉強に力を入れ、部活動はできませんでしたが、目標ができ、それに向かって努力したことに悔いはありません。嬉しかった勉強を三年間、一生懸命できたということに自信が持てました。三年間支えてくれた先生や家族、友達に感謝し、大学進学後も頑張りたいです。

3年2組（特進Ⅱ類）　玉井　陽菜　「ありがとう」

私の18年間を振り返って、自ら大商学園を選んだことによって、今の「私」というものが作られたのだと思います。たくさんのステキな人たちや先生に出会えたことは私の大きな財産にもなったと思います。

まずは友だち。たくさん喧嘩もしたし、言い合いをしたし、嘆らなかったこともあったし、泣いて笑ったけれど、私にとってどれも大切でかけがえのないものでした。今までの中で初めて出会えた「個性」を持った人たちでした。たくさんの迷惑をごめん。ありがとう。

つぎはクラスのみんな。私は18年間の8割はいいクラスにめぐりあえています。そして高校でもいいクラスでした。私は慣れるのに時間がいつもかかって、高校でも3年生でやっとって感じで少し後悔しています。でもみんなのあたたかさが全面に出たクラスだと思います。ありがとう。

そして部活。部活に関しては本当に本当にいい部活、先輩、顧問の先生に出会えました。たしかに辛かったし苦しかった。自分のできないことを求められたとき、自分のやりたいことを伝えるとき、良いことだけでなく悪いことも、すべて人に言わなければいけないとき、どれも辛かった。でも私にとって部活は、私を成長させてくれる大切な場所でした。辛いときは顧問の先生や担任の先生にもたくさん助けてもらったと思います。いい先生に出会えてよかったです。ありがとうございます。

これからの人生も辛いことがたくさんあって、きっと泣いていることもあるだろうけれど、部活のことを考えたらきっと「たいしたことない」と強い自分でいられる気がします。そう思えることに感謝しています。ありがとう。

そして私はいい大人になる。よい人と出会うためにまず自分がよい人になる。頑張りたいと思います。お互いに頑張りましょう。

本当にありがとう。

3年3組（特進Ⅱ類）　井上　優奈　「かけがえのない経験」

3年間の高校生活において、私の最も印象に残っていることは生徒会の活動です。この生徒会の活動を通じて、私は大きく成長することができました。

私が生徒会に加わったのは2年生の途中です。入学当初からバレーボール部に所属していましたが、身体の故障で継続が困難となったため、何か新たなことにチャレンジしたいという思いで始めたのがきっかけでした。最初は何をしてよいかわからず、右往左往していましたが、行事や役員のミーティングを重ねるうちに、楽しく活動に参加していました。3年の前期にはどうせなら2期いも、生徒会長に立候補し、選出していただきました。この生徒会活動では様々なことを経験しました。中でも私を大きく成長させてくれたのが、「挨拶運動」と「体育祭」です。

挨拶運動では、近所の小学生や地域の人々に挨拶をすることで、積極的に話しかけられるようになりました。中学生までの私は、極端な人見知りで、親しい人達しか挨拶できませんでした。しかし、挨拶運動をすることで、地域の方々や子どもたちと「おはよう」や「ありがとう」と言葉を交わすうちに、まだ次も頑張ろうと自信がついていました。人見知りをしなくなったわけではありませんが、以前よりも積極的に発言するようになったことを実感しています。

また、体育祭では、行事を最前線で準備することができ、大勢で何かに取り組む大変さは、それに伴うやりがいを実感しました。体育祭は学校の二大行事であり、加えて学年は校舎建て替えのためいつもと異なる校外の体育館での実施。何度も実行委員会で準備を重ねてきましたが、自身の統率力の無さがあらわれ、他の生徒会役員にちゃんと指示が伝わっていませんでした。自分の思いをどうすれば相手に伝えられるのか。よく考えるきっかけになりました。この経験を糧に、文化祭では準備期間から役員に的確に指示を出すことができ、成功を収めることができました。

私が大きく成長することができた、生徒会というかけがえのない経験。高校生活の最も印象強い思い出であるとともに、苦らないところばかりの私を支えてくれた他の生徒会役員や、生徒会の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

3年4組（情報）　松本　昂汰　「自論」

私は二の3年間を過ごして得たものが一つあります。

「心」（しん）です。

一文字で表すなら、この言葉が一番合っているかと考えます。

「好奇心」や「探求心」などの「心」です。

この「心」を得るためには自ら考えて行動する必要があります。

普通に過ごしていれば知識や技術を得られます。

普通に過ごすとは真面目に授業を受けることです。

ですが、そこから自分で動かないと知識として実感する何かを学び得ることができません。

プログラミングの授業を受ければ、画面上に物を並べたり動かしたりすることができるようになります。自由に制作する課題が出たときに様々な機能を追加しようと動き出しました。思うように動かす方法を考えてプログラムを作っても、うまく動かない。間違っている部分や欠けている部分を探し、分からない所は友人に聞いたり先生に聞いたりして、まだ作る。苦労した甲斐があって作品発表の日には目標としていた作品ができあがり、周囲にも評価してもらえました。ただ課題をこなすために作っただけでは、こんな結果にはならなかったと思います。

「心」を大切に進路先で力をつけて頑張っていきたいと考えています。

こう思う私があるのも、両親や先生やクラスメイトたちが居てくれたおかげです。

3年間ありがとうございました。

3年5組（進学）　山田　知明　「私の高校生活」

私の高校生活は、初めての経験の連続でした。

1年生では、私は音楽部に所属し今まで聴いたことのなかった音楽と触れ合いました。音楽の楽しさだけでなく、自分の技術と理想の差を痛感し、仲間と一緒にたくさん悩むこともありました。

2年生では、進学クラスになり、勉強もどんどん難しくなっていきました。勉強と部活動の両立は大変でしたが、好きな教科を見つけることで前向きに取り組むことができました。夏には、部活動の大会な大会があり、私は選抜メンバーに選ばれました。仲間と共に1つの物事を成し遂げる達成感を味わうことができました。秋には、部長に任命され大人数の部員をまとめる難しさを知りました。何もかも初めての経験で、強い責任感が養われたように思います。

3年生になると、受験期が近づくにつれて、将来について考え悩むことが多くなりました。私は相母と2人で暮らしているのですが、祖母の願いでもある「立派な人間になる」ことを叶えるため、より広く深く勉強ができる大学進学を目指しました。しかし、勉強に専念しようとしていた矢先、祖母の認知症とガンが発覚しました。私が入試を受けるころには、以前のような元気な祖母の面影はなく、ただただ抗がん剤に苦しむ姿がありました。うま く話すこともできなくなっていましたが、それでも私の名前を呼び、励ましてくれました。祖母の応援に応えようと、私は今までの人生の中で一番努力をし、その結果、第一志望の大学に合格しました。「大学、合格したで。」と真っ先に祖母に報告しましたが、話すことのできなくなった祖母はもう私の言葉に答えてはくれませんでした。まったく喜んでもくれませんでした。もっと早くに伝えることができたらと、後悔でいっぱいです。

大商学園での高校生活は、何事にも挑戦することの大切さや、支え合う仲間がいることのありがたさに気づくことができた、かけがえのない時間です。大切な人と過ごせる時間は「当たり前」ではありません。これからの人生、ここで得たものをずっと大切にし、毎日を幸せに生きていきたいと思います。

3年6組（スポーツ）　西田　賀杏央　「私の3年間」

私は高校生活の3年間を大商学園で過ごしたことで、大きく人間的な成長を遂げました。こうして成長し、充実した学校生活を送ることができたのは、熱心な指導をしてくださった先生方や切磋琢磨しあう仲間と出会えたお陰です。

私が所属していたスポーツクラスは、全員が運動部に入っており、毎日練習や試合に勤み青春をスポーツにかけていました。しかし、その中でも部活だけ頑張るのではなく、自分で時間を作り定期テストでは高得点を取る生徒が多かったです。さらに、生活面や行事にも全力で取り組む姿勢がありました。このような素晴らしいクラスメイトと過ごし、いい刺激を受けることでは私は3年間部活と勉強の両立をさせることができました。

部活は、女子テニス部に入っていました。私の3年間はテニスで積み重ねられてきたといえます。今振り返ると、嬉しい事より結果が出ずに苦しんだことの方が多いように感じます。しかし、団体戦のときチームが一体となり格上の相手に勝利する感覚は、言葉では表現できないもので忘れられません。そして、仲間とぶつかり合ったり絆を深めたり、厳しい練習やトレーニングを乗り越えた経験は今後生きていくうえで自信になるだろうと思います。

これからの進路は、それぞれ違いますが3年6組で学んだことを活かしていきたいです。最後に、高校生活を送る上で関わってくださった全ての方に感謝します。ありがとうございました。

3年7組（総合）　横山　航大　「大商学園での出会い」

中学３年の冬、大商学園に入学しているなんて１ミリも考えていませんでした。なぜなら公立高校に行くことしか考えていなかったからです。とても不安な入学式に参加したのを覚えています。最初は不安しかありませんでした。しかし、大商学園の友達はとても個性が強く面白い人ばかりで、そんな友達のおかげで私の学校生活はとても充実したものになりました。

学校生活の中で印象に残っていることは、体育祭や文化祭などの行事です。特に思い出深いのが３年生の時の体育祭での大縄跳びです。初めの練習で３年７組は、１～２回くらいしか跳べませんでしたが、みんなで諦めずに朝練を繰り返しました。その甲斐あって体育祭本番では優勝することができました。みんなで喜びはしゃぎました。クラス全員が一つになった体育祭は忘れることのない思い出となりました。

クラブ活動では硬式野球部に所属し、キャプテンを経験させてもらいました。キャプテンは私が思っている以上に辛くでしんどいものでした。試合では負けてばかりで、どうすればチームが勝てるのかを必死に考えました。チームメイトと揉めたり、愚痴を言われたりしました。そんな時に話を聞いてくれたり、アドバイスをくれたりしたのは、顧問の先生をはじめ、クラスの友達や授業担当の先生でした。「頑張れ!!」の一言でいつも元気をもらっていました。最後の夏の大会、負けたら引退の試合。結果は７回コールド負け。試合終了直後は自分たちの負けを受け止めきれませんでした。ベンチから出てスタンドに上がっていた時に応援してくれた人たちの姿を見て、涙を堪えることができませんでした。チームの力の無さを痛感しました。本当に悔しい終わり方となってしまいましたが、とても内容の濃い２年半を過ごすことができました。キャプテンを経験できたことは私にとって大切な財産です。

大商学園に入学し、たくさんの出会いがありました。兵庫県民の私は大阪にも友達ができて嬉しく思います。自分一人では何もできません。クラスメイトや先生方、野球部の仲間などといった全ての人の支えがあり、今の自分があります。たくさんの人との出会いに感謝したいと思います。これまで得たものを次のステージでも活かし、今より少し大きく成長します。

大商学園で過ごした３年間は私の誇りです。今までありがとうございました。

3年8組（総合）　横田　峻介　「卒業にあたって」

大商学園高校に入学して多くの方々と出会い、沢山の思い出が出来ました。

入学式ではとても緊張したのを覚えています。何も分からない中で不安だらけのスタートでしたが、宿泊研修や体育祭などの行事を通じて徐々に仲良くなり、クラス全員で一つのことに向かって全力で取り組んだり、何かを成し遂げた時の喜びなどが思い出されます。

時間が経つにつれて学校生活にも慣れ、友達も増え日々楽しく過ごせるようになりました。

三年生になり後輩ができ、もっと自分が引っ張っていかないといけないという一年生時とは違った気持ちが芽生えていったのを覚えています。更に一番の思い出は修学旅行でロサンゼルスに行ったことです。初めての海外という事で、行く前からどきどきワクワクしていました。実際に行くと、日本とは全く違った街の雰囲気を感じ、スケールの違うものや食べ物に出会い、驚いたのを覚えています。言葉の壁を少し感じながらも様々な場所へ行ったり、買い物をしたりとても思い出に残る充実した修学旅行になりました。

三年生では、何故か男子クラスになりました。ノリの良い活発な雰囲気で、第一印象はキャラの濃いメンバーが沢山いるなと感じ、驚きました。しかし、毎日がとても楽しくて、たとえ辛い事があってもこのクラスの仲間といれば忘れるぐらいのパワーがあり、高校最後のクラスとしては最高だと思えるクラスでした。ひとつの行事ごとに学年で一番まとまり、盛り上がることができるクラスでした。このメンバーと出会えて本当に良かったと思います。

私はこの大商学園高校での３年間で勉学とクラブ活動との両立を何とかできたように思います。学校生活でも挨拶を営め、人としても成長できた三年間でした。

最後に大商学園高校でお世話になった先生方、先輩、後輩、そして大切な友達、皆さんがいてくれたおかげで一生に残る高校生活を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

3年9組（総合）　鹿納　悠花　「成長と学び」

わたしは大商学園で３年間、たくさんのことを経験し、たくさんのことを学びました。

大商学園に入学するとともに、私は女子バスケットボール部に所属しました。１年生の頃は担任の堂浦先生が厳しく、高校生活について指導してくださいました。しかし部活動では、まだ先輩に甘えるばかりで、なかなか成長できませんでした。ケガも多く、先生や先輩、仲間に迷惑ばかりかけていました。

２年生では先輩といる時間が少なく、後輩を引っ張っていく立場になり、責任感を負うようになりました。自分たちのペースに後輩が合わせるため、日々の練習が厳しくなっていきました。

３年生になり、私たちの目標はインターハイ出場。しかし、そこには大きな壁がありました。ラストの夏合宿、朝から夕方までずっとアップばかりで、今までの合宿の中で一番大変だと感じた時間でした。インターハイをかけ、負けてしまった大体大浪商とも一度ウィンターカップであたることになり、今までやってきた練習を発揮する時がやってきました。結果は残念ながら敗北しましたが、いい試合ができたと感じました。

結果を出して恩返しはできませんでしたが、顧問の公文先生には仲間の大切さ、一致団結して一つの目標に向かって努力し続けることの大切さを、改めて学ばせていただきました。これから先、それぞれ違う道に進んでも、今まで学んできたことを次のステップに活かしていきたいです。

3年10組（総合）　松下　明季菜　「波乱万丈」

私の高校生活は波乱万丈でした。

中学校では、周りの先生に沢山お世話になり卒業し、そのままの軽い気持ちで大商学園に入学しました。1年生の時は、進学クラスに所属し、勉強に取り組む姿勢は積極的な方だったので授業にはしっかりと参加していました。ですが、運動や欠席が多く学校生活が乱れていて、先生方に指導を受けました。私は、「ここで高校を辞めて、嫌なことから逃げたら、この先も自分にあまなってしまう」両親や大商学園で出会った友達を悲しませてしまう」と思い、生活態度を改めて、大商学園で卒業することを決意しました。

残ると決めたからには、朝起きることが苦手だった私は、卒業するまで8時に登校し、そこから学校周辺のごみ拾いをし、放課後は勉強をして帰ることを決めました。毎日続けていると、当たり前のことができていなかったんだとわかりました。自分ができていなかった事は、社会に出てからじゃ気付けなかった。私は、「ここで高校を辞めて、嫌なことから逃げたら、この先も自分にあまなってしまう」両親や大商学園で出会った友達を悲しませてしまう」と思い、生活態度を改めて、大商学園で卒業することを決意しました。

私の この3年間は、とても濃くて、良い高校生活でした。大学に進学し、また新たな生活が始まますが、この大商学園で学んだ事を糧にもっと成長していきたいと思います。

3年11組（総合）　山倉　大輝　「3年間を終えて」

私はこの3年間を終えて、多くのことを学び、そして多くのことを得ました。最初1年生になったばかりの時は「本当にこの学校でやっていけるのかな」思っていました、しかし、私が想像していたのとは違い、とても充実した高校生活でした。それが強く感じられたのは2年生の時です。その時の担任だった奥島先生には色々と助けてもらいました。1年生の時に心に深い傷を負った時、「大丈夫か?」などと心配して話しかけてくれたことや、クラスに馴染めなかったときに親身をきっかけをくれた先生です。正直、この先生がいなかったら今の自分があるとは思えません。

そして3年生。本当に楽しい時間を過ごさせてもらいました。勉強面では1年生や2年生の時とは比べ物にならないくらいに学力が向上し、テストの点数も、前とは比にならないくらいに上がりました。人間関係では、友達もたくさんできて、今までよりも積極的に話しかける力がつきました。文化祭や体育祭では、いつもは全然話したこともない人たちと話をして、交友関係が広がり、とても良かったと感じています。

私はこの3年間で、本当に数え切れないくらいに多くのことを学び、そして得ることができました。そしてこの力や思い出は、この先もずっと忘れることは無いでしょう。

最後に、この場を借りて今までにお世話になった人たちへ感謝を伝えます。私がこうして楽しい高校生活が遅れたのも、皆さんが仲良くしてくれたおかげです、その中でも3年11組の皆さんには特に感謝しています。この関係は永遠と続いていくと思っています。3年11組の皆さん、そして担任である山内先生、本当にこのような思い出を作っていただきありがとうございました。

3年12組（総合）　黒田　隆孔　「三年間の思い出」

僕が思い出に残っていることは二つあります。一つは三年時での体育祭です。僕は綱引の応援団長をさせてもらいました。約三十名の団員をまとめなければいけないので、自分に二の団長が務まるか不安でしたが、周りの団員の支えもあり本番では応援合戦を成功させることが出来ました。この応援合戦が終わったとき自然と涙が出てきました。在校生の皆さんにも、このような経験をしてもらいたいです。

二つ目はクラブ活動です。僕は三年間、男子サッカー部に所属していました。ここでは、顧問の先生方、先輩、チームメートから多くのことを学びました。部員の数が多いことで衝突することもありましたが、だからこそ本当の意味で仲間関係を築けたと思います。卒業しても、このチームメートとは一生あの環境でサッカーをしたいと思えるほどのチームメートに、大商で出会えたことに感謝しています。

3年13組（商業）　北川　かれん　「3年間を振り返って」

私はサッカーがしたくて地元を離れ大商学園に入学しました。この３年間で多くのことを学び経験しました。

中学生の時は勉強を全くせず成績は下位層でした。中学時代はサッカーだけ出来たら良いという考えでした。入学当初は女子サッカー部の文武両道を当たり前にするという考え方についていくのに必死で、その文武両道の考え方がまだ体に馴染んでおらず、サッカー部の中でもテストの点数は下位層でした。

顧問の先生から「サッカーと私生活は比例する」という話があり、文武両道を自ら実行するというよりも、高い志をもって毎日取り組んでいれば、自然とできるものだと気付きました。テストの点数はやったらやった分だけ、その取り組みが点数にあらわれ、点数が上がっていくのが嬉しくて、初めて勉強が楽しいと思えました。

部活動では、1・2年の時は、トップで試合に出させてもらうことはなく、公式戦はメガホンで応援をし、2年の冬には怪我で３カ月半サッカーができませんでした。それでも、３年になって、最後の選手権のピッチに立つことができたのは、信じて応援し続けてくれた家族、支えてくださったくさんの方々、そして何より、この３年間、苦しいことも楽しいことも全部共にしてきた仲間のおかげです。初戦敗退という情けない結果で終わってしまいましたが、この悔しさは今の1・2年生に託したいです。

また、数学の授業が少ないという理由で選んだ商業科では、普通科では出来ない事をたくさん学ばせてもらいました。今では、商業科を選んで本当に良かったと心から思います。放課後、検定取得に向けて、皆で居残り勉強したことと、３年間クラス替えがなく仲良く卒業できること、無理って言わないで言われ続けた３年間は一生忘れません。今までの人生の中で1番濃い３年間でした。大学に行っても、大商で学んだことを生かして、文武両道を目指し、フレザドにやり続けたいです。

卒業記念品贈呈

平成30年度卒業記念品として、ウォータークーラー2台が寄贈されました。日々の学校生活に利用させていただきます。

大学合格者数推移

［現役生のみ］

	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
大阪大学			1			1			
山口大学		1							
滋賀大学		1							
鹿屋体育大学							1		
大阪市立大学							1		
京都市立芸術大学			1						
大阪教育大学								1	
兵庫県立大学	2		1						
県立広島大学				1					
島根県立大学					1				
北見工業大学					1				
長崎県立大学						1			
福井県立大学				1				1	
早稲田大学					1	1	1	1	1
東京理科大学					1				
同志社大学	1	1	3			2		4	1
立命館大学			12	1	3	3		2	4
関西学院大学	3		2	1		5		6	4
関西大学	2	2	3			4	3	6	8
龍谷大学	1	1	4	4	6	6	2	12	6
近畿大学	10	15	13	8	5	9	21	16	21
甲南大学	1		1	1	1	3	6	2	5
京都産業大学	4	13	12	15	11	2	14	22	23
関西外国語大学	1	5	3	4	6	2	5	6	6
京都外国語大学			2				7	3	2
佛教大学						1	5		1
武庫川女子大学				2		2	2		10
大阪経済大学	6	6	11	9	15	13	26	11	13
摂南大学	2	6	9	11	12	13	26	10	9
神戸学院	1	2	4	7	8	7	29	28	9
追手門学院大学	32	36	35	30	42	44	31	39	38
桃山学院大学	2	3	16	6	8	6	22	16	17
計	68	92	134	101	121	125	202	186	178

進路状況（現役生）

（平成31年1月31日現在）

大学合格人数

愛知東邦大学	教育 1
追手門学院大学	経営 2
追手門学院大学	経済 12
追手門学院大学	国際教養 6
追手門学院大学	社会 1
追手門学院大学	地域創造 2
大阪青山大学	健康科学 11
大阪学院大学	外国語 1
大阪学院大学	経済 1
大阪学院大学	情報 2
大阪教育大学	教育 1
大阪経済大学	経営 4
大阪経済大学	経済 2
大阪経済法科大学	経済 3
大阪経済法科大学	経済 1
大阪経済法科大学	国際 1
大阪経済法科大学	法 4
大阪国際大学	経営経済 2
大阪国際大学	人間科学 1
大阪産業大学	スポーツ健康 4
大阪産業大学	デザイン工 1
大阪産業大学	経営 4
大阪産業大学	経済 4
大阪産業大学	工 1
大阪産業大学	国際 1
大阪商業大学	経営 1
大阪商業大学	経済 4
大阪商業大学	公共 2
大阪商業大学	総合経営 2
大阪成蹊大学	マネジメント 1
大阪成蹊大学	教育 2
大阪電気通信大学	医療福祉工 1
大阪電気通信大学	工 3
大阪電気通信大学	情報通信工 1
大阪電気通信大学	総合情報 2
大阪人間科学大学	人間科学 2
大阪物療大学	保健医療 1
大手前大学	メディア・芸術 4
大手前大学	健康栄養 4
大手前大学	現代社会 17
大手前大学	国際看護 1
大手前大学	総合文化 5
神奈川大学	経営 1
関西大学	商 1
関西外国語大学	英語キャリア 1
関西外国語大学	英語国際 3
関西外国語大学	外国語 3
関西国際大学	教育 1
関西国際大学	経営 1
関西国際大学	心理科学 1
関西学院大学	人間福祉 1
環太平洋大学	体育 1
京都外国語大学	外国語 5
京都産業大学	外国語 2
京都産業大学	経営 2
京都産業大学	経済 3
京都産業大学	現代社会 1
京都産業大学	国際関係 2
京都産業大学	情報理工 1
京都産業大学	文化 2
京都産業大学	法 5
京都造形芸術大学	芸術 1
京都美術工芸大学	工芸 1
近畿大学	経営 10
近畿大学	経済 3
近畿大学	産業理工 2
近畿大学	生物理工 4
近畿大学	総合社会 9
近畿大学	文芸 5
近畿大学	法 4
皇學館大学	教育 1
甲子園大学	栄養 1
甲子園大学	心理 1
甲南大学	経営 1
甲南大学	理工 1
甲南女子大学	人間科学 1
甲南女子大学	文 1
神戸海星女子学院大学	現代人間 1
神戸学院大学	グローバル・コミュニケーション 5
神戸学院大学	経済 2
神戸学院大学	現代社会 1
神戸学院大学	人文 1
神戸学院大学	総合リハビリテーション 1
神戸学院大学	法 5
神戸学院大学	薬 4
神戸松蔭女子学院大学	文 1
神戸女子大学	家政 3
神戸親和女子大学	発達教育 1
神戸山手大学	現代社会 1
四天王寺大学	教育 1
四天王寺大学	人文社会 3
摂南大学	外国語 2
千里金蘭大学	看護 1
園田学園女子大学	人間教育 1
太成学院大学	人間 2
宝塚大学	看護 1
宝塚医療大学	保健医療 3
東海大学	経営 1
東海大学	体育 1
東京国際大学	人間社会 1
東洋大学	食環境科学 2
奈良大学	文 1
日本大学	商 1
梅花女子大学	看護保健 1
梅花女子大学	心理こども 1
羽衣国際大学	現代社会 1
阪南大学	経営情報 1
阪南大学	経済 3
阪南大学	国際コミュニケーション 1
阪南大学	流通 2
姫路獨協大学	人間社会学群 1
びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツ 5
佛教大学	文 1
佛教大学	歴史 1
武庫川女子大学	健康・スポーツ科学 3
桃山学院大学	経営 1
桃山学院大学	国際教養 1
桃山学院大学	社会 1
桃山学院教育大学	教育 3
大和大学	教育 1
山梨学院大学	スポーツ科学 1
立命館大学	理工 1
龍谷大学	理工 1
流通科学大学	経済 2
流通科学大学	商 2
流通科学大学	人間社会 4
（合格延べ人数　303 名）	

短大合格人数

大阪音楽大学短期大学部	音楽 1
大阪芸術短期大学部	デザイン美術 1
大阪成蹊短期大学	栄養 1
大阪成蹊短期大学	観光 2
大手前短期大学	ライフデザイン総合 1
関西外国語大学短期大学部	英米語 4
神戸女子短期大学	食物栄養 1
園田学園女子大学短期大学部	幼児教育 1
武庫川女子大学短期大学部	健康・スポーツ 2
（合格延べ人数　14 名）	

専門・専修学校合格人数

トヨタ自動車大学校	1
ECCコンピュータ専門学校	5
ECC国際外語専門学校	1
OCA大阪デザイン&IT専門学校	3
エコール★大阪専門学校	1
グラムール美容専門学校	2
ル・トーア東亜美容専門学校	1
愛仁会看護助産専門学校	1
近畿リハビリテーション学院専門学校	1
甲賀健康医療専門学校	1
阪神自動車航空鉄道専門学校	1
堺歯科衛生士専門学校	1
修成建設専門学校	3
駿台観光外語ビジネス専門学校	1
上田安子服飾専門学校	2
専門学校　ESPエンタテインメント大阪	1
専門学校　HAL大阪	3
大原簿記専門学校	1
大阪ECO動物海洋専門学校	1
大阪ウェディング&ホテル・観光専門学校	1
大阪こども専門学校	3
大阪バイオメディカル専門学校	2
大阪ペルエベル美容専門学校	2
大阪モード	1
大阪リゾート&スポーツ専門学校	2
大阪医専	1
大阪医療看護専門学校	2
大阪医療秘書福祉専門学校	1
大阪国際福祉専門学校	1
大阪消生会中津看護専門学校	1
大阪調理製菓専門学校ecole UMEDA	2
辻学園調理・製菓専門学校	1
東京メディカル・スポーツ専門学校	1
東洋医療専門学校	4
平成医療学園専門学校	1
明治東洋医学院専門学校	1
神戸電子専門学校	1
レコール/パンタン	1
（合格延べ人数　59 名）	

就職内定人数

海上自衛隊	1
東京消防庁	1
貫面市消防署	1
猪名川町役場	1
大阪銘木協同組合	1
株式会社　モンテローザ・フーズ	1
株式会社　AOS	1
株式会社　S−FIELD	1
株式会社　TTNコーポレーション	1
株式会社　ティグレ	1
株式会社　一門会	1
株式会社　大阪イエローハット	1
久森電気工業株式会社	1
山崎製パン株式会社	1
富士シート株式会社	4
（内定延べ人数　18 名）	

進路決定者の声

VOICE! 関西学院大学合格！

3年6組　福居　詩織

私が関西学院大学を目指す決心をしたのは、高校3年生の7月頃でした。きっかけは、テニスのレベルと学力の向上はもちろん、高校で果たせなかったことから逃げることなく挑戦し続けたいという想いからでした。

8月、テニス部としての最後の大会が終わり、受験まで僅か7ヶ月間という限られた時間の中で毎日勉強に励みました。焦りと不安が募る一方で私の支えとなったのは、周囲の方々の存在でした。特に、先生方のご指導や大学の先輩方のサポートは心強く受験に対し自信がみなぎりました。この自分自身の強い意志と多くの方々の支援があって、合格というスタートラインに立つことができました。

大学では今まで以上にテニスと勉強の両立が困難になると思いますが、努力を惜しまず一歩ずつ前進していきます。高校生活での様々な出逢いに感謝します。本当に有り難うございました。

在校生の皆さん、高校生活は本当に一瞬で過ぎてしまいます。だからこそ一日も無駄にせず大切に、後悔しないように過ごしていただきたいです。そして感謝の心を忘れずに、一度しかない高校生活を全力で楽しんでください。

VOICE! 専門学校進学！

3年1組　柴田　莉紗

私は将来、助産師になるために、愛仁会看護助産専門学校に進学します。

助産師になりたいと思つたきっかけは、2年生の三者懇談で母の希望が看護師というのを初めて知り、散々迷惑をかけてきた私なりの親孝行のつもりで医療の道に進もうと思いました。医療系の中でも助産師は、女性にしかなれない職業であり、生命の誕生を目の当たりにできるところに魅力を感じ、そのためにも受験勉強を頑張りました。

本格的な勉強をスタートし始めたのは、部活を仮引退した9月下旬からでした。試験日まで2か月もなく、模試でも全てE判定で、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし私は絶対に受かるという想いで勉強しました。毎日、最低6時間を目標に勉強し続けました。看護学校用英単語帳は、一冊全て暗記することを目標にし、小論文でも制限時間内に書き終えることや、どんなテーマが出題されても対応できるように医療問題や社会問題についても勉強しました。この時期、クラスの3分の2は進路が決定していました。その中でも筆記で受験する人は4人ほどしかいなかったので、非常に勉強することが辛かったです。やってもやっても終わりがなく、更に不安が募るばかりでした。でも勉強しなければならないことは変わらず、ただ合格することを信じてやり続けました。

実際、合格した時は本当に嬉しかったです。自分の頑張ってきたことが証明された気がしました。ですが、医療は常に進歩していくものなので仕事に就いても一生、勉強が伴います。だからこそ、この合格をスタートラインと思いながら、将来のために、これからも努力を怠らずに、この学校で多くのことを学んでいきます。

VOICE! 消防官内定！

3年6組　芳賀　啓大

私が消防官を目指したのは、小さい頃からの夢だったからです。採用試験は、高校生だけでなく専門学生や大学生、社会人と多様な人たちとの競争となるため、合格は厳しくなるだろうという不安はありました。

公務員試験は今までの勉強とは少し違い、慣れない部分も多くありました。私は2年生の3学期から少しずつコツコツと勉強を始めました。しかし、ほとんど独学でやっていたため、自分1人の力ではどうしようもない部分もあり、壁にぶつかりました。何度も挫折しそうになりましたが、友達や周囲の方々からの応援や先生方の指導のおかげで、覚悟を決め夢に向かって頑張ることができました。

このように妥協することなく勉強を続け、私は東京消防庁と箕面市消防の2つの内定をいただくことができました。その中でよく考えて箕面市消防へ入署することに決めました。内定はいただきましたが、ここからが消防官としてのスタートであり、ゴールではありません。覚悟を持ち頑張り続けることと、周囲の方々への感謝という、今回の受験で改めて学んだことを忘れずに消防官として頑張ります。

VOICE! 卒業生へ

平成29年度卒業生　関西大学在学中　播磨　航平

卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。私は高校生活の中で目標に向かって努力している人達を見てきました。そして、自分も何かやり切りたいと思いました。そう考えて、2年に進級するときに進学クラスを希望しました。高校生活を振り返り自分がやり切ったことはやはり大学受験でした。自分は受験を通してクラスメートや同じ目標を持った友達と切磋琢磨することで最後まで諦めずにせんでしたが大学に合格することができました。その結果は僕にとってとても満足で、達成感のあるものでした。なぜなら、「自分ができる全てのことをした」という自信があるからです。今では、受験シーズンに切磋琢磨しあった友達や自分のために時間を作って下さった先生方そして、受験勉強をやりきった自分自身にも感謝しています。皆さんもそれぞれの道に進んでいかれることと思いますが、何かに取り組むときは将来振り返ったとき、自分に感謝できるようにやり切ってみて下さい。そのためには全力で取り組むことしかないと思います。在校生も残りの高校生活、何か全力でやり遂げようとしているなら、それを最後まで貫き通すようにしてください。

各賞受賞者

卒業を機に各分野で活躍した生徒たちの表彰が次のように決定しました。

学外表彰

●関西学院大学合格者
3年6組　福居　詩織

○大阪府知事賞
6組　的場　望香
13組　北川かれん

○日本女子中学校高等学校連合会会長賞
10組　坂井　友紀

○産業教育振興会会長賞
13組　前川　望愛

○全国商業高等学校協会理事長賞
13組　井上　汐季

○大阪私立中学校高等学校連合会会長賞
10組　大西　彩未

○大阪産業教育振興会会長および大阪実業教育協会会長賞
13組　藤瀬　虹歩・岡田　杏梨

○全商検定試験3種目以上1級合格者表彰
13組　井上　汐季・富田　隼人
13組　藤井　瞳

○大阪府私立学校書道教育研究会会長賞
3組　徳永　千夏

●女子テニス部　井上　汐季
西田賀奈央・福居　詩織
望月　美香・川上　陽捺
伊丹　さき・金井　杏海

●男子バレーボール部　高勢　陸哉
市来　翔・清水　駿・西野　永羽
濱田　恭晴・古本　大樹
高沢　伸吾・中島　思源
金田　充茂・中島　琉偉
樹山　稔生・別當　朋大
柴田　莉紗

●男子バスケットボール部　瀧川　颯太
大西　航・森口　聖矢
藤原　太樹

○体育功労賞（37名）

●吹奏楽部　宮野　有乃
●ジャグリング部　中安　浩友
●科学研究部　隼人
富田

●卓球部　井田　悠斗・黒谷　純平
竹田　健人・坂田敢久郎
東原萌々花

●女子テニス部　田中　紅葉
●女子バスケットボール部　大道有紗琴
●硬式野球部　横山　航大
●剣道部　中島　隆斗
●男子サッカー部　廣川　柊二
●ハンドボール部　坂之上　来
●柔道部　荒尾　広大
●男子テニス部　青木　聡志
●水泳部　吉川　真也
●女子バレーボール部　大西　航
●女子バドミントン部　平野ひなた
●女子サッカー部　波多江　弦・稲継　香里
●軟式野球部　諸森　誠
●ラグビー部　橋本誠志朗
大居　信也

○特別文化功労賞（3名）
●書道部　徳永　千夏
●情報処理研究部　守家　千生
●吹奏楽部　柴田　莉彩
橋爪亮太郎

○文化功労賞（9名）
●弦楽部　菊田　海斗
●情報処理研究部　遠藤　駿
●放送部　桑折匡祐樹
●写真部　池田　恒太
●ダンス部　橋田あみき
●料理研究部　生駒　美羽
竹田　大輔

○特別功労賞
遠藤　望子・広　水江・彩乃
竹井　帆波・亜美
根岸　林　涼香
日野くるみ
望愛・北川かれん

○特別外体育功労賞（19名）
●女子サッカー部
1組　栗原梨花子
3組　竹橋優美美・中田　真央
5組　片岡　傑・徳村　啓太
6組　荒尾　広・伊丹　さき
遠藤　千広・雑喉　拓実
竹井　帆波・田中　藍巳
田中　光歌・西田　智香央
西村　紅葉・根岡　陽彩
波多江　蛍・涼織香
日野くるみ・福居　詩織
7組　橋田　望香・水江　彩乃
8組　有村　裕貴・瀬島　海人
9組　西本　ほの香
10組　津熊　実咲
11組　平野　朝見・中山　実咲
12組　峯本　慶太
13組　井上　汐季・前川　望愛

○特別功労賞
遠矢　風汐

○前生徒会長
菊田　海斗

○情報処理研究部
竹内　健人
竹内　誠吾・橋本誠志
藍原　朗
松井　涼
新井本　蒼
桑折匡祐樹
鹿石　凛
小林　悠介
悠花
辛岡　凜
池田　尚基
酒井　ほの香
藤田　美羽
駿一生
池田　ほの香
池田　亮
池田　恒太
池田　あみき
橋田　大輔
橋本　大樹
橋本　誠
橋本　朗
橋爪　亮太郎
橋爪　亮
橋爪　大輔
橋爪　亮
橋爪　大輔
橋爪　亮
橋爪　大輔

入学式
4/7 SAT

対面式
4/9 MON

体育祭
7/13 FRI

体育祭
優勝　赤団

3年4組　3年9組　3年13組
2年5組　2年6組　2年7組
1年3組　1年5組　1年8組

芸術鑑賞
11/8 THU

1年 宿泊研修
4/12 THU ～ 13 FRI

校内競技大会 結果

3年総合優勝　9組
2年総合優勝　12組
1年総合優勝　7組

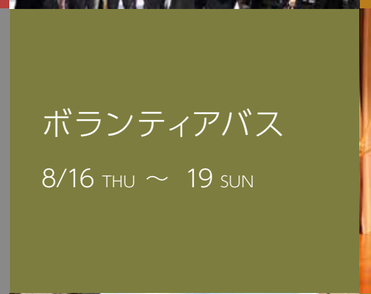
校内競技大会
11/21 WED

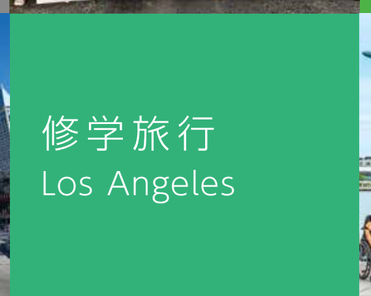
2年 校外学習
4/13 FRI

2年 修学旅行
12/10 MON ～ 14 FRI

SCHOOL LIFE DAISHO 2018-2019

3年 校外学習
4/13 FRI





1年 大学見学ツアー
6/8 FRI

クラブ紹介
4/17 TUE

文化祭
9/22 SAT

修学旅行
Los Angeles

修学旅行
Singapore

文化祭 結果

演劇部門最優秀賞　3年9組
展示部門最優秀賞　1年12組

卒業式
2/19 TUE

平成三十年度 人権標語優秀作品

この標語は、全校生から募集した作品から、二〇一八年度の「大商学園人権標語」として、本校の人権学習の啓発に役立てようとするものです。

不細工と
言ってくる人
こころブス
3年10組　池田　直輝

否定せず
認めてみよう
他人の世界
1年1組　星宗　孝大

第29回 伊藤園 新俳句大賞

お茶

【団体応募賞】大商学園高等学校

【佳作】冬の日々　地球全体　重装備
稲壇　匠吾（2年2組）

【佳作】初スキー　銀の翼で　翔んでいけ
中家　聡太（2年7組）

【佳作】凶引いて　伸びしろあると　信じ込む
大町　涼夏（2年13組）

【佳作】一日の　過ぎる速さは　砂時計
伊勢　歩華（3年11組）

【佳作】七草の　味を余韻に　学び舎へ
小川　真旺（3年12組）

クラブ活動

●陸上競技部

平成30年度 大阪高校総体
1年生 男子円盤投げ　5位　中平貴之

●水泳部

平成30年度　中央大会（高校総体）
標準記録突破　個人出場
女子50m自由形　木村瑠希（1－11）
男子100m自由形・50m自由形　吉川貴也（3－8）

●硬式野球部

平成29年度　秋季近畿地区大会大阪府予選　1回戦
平成30年度　春季近畿地区大会大阪府予選　2回戦
平成30年度　全国高校野球選手権大阪大会　2回戦

●軟式野球部

平成30年度　春季近畿地区高等学校軟式野球大阪大会　1回戦
第63回　全国高等学校軟式野球選手権大阪大会　3回戦
平成30年度　秋季近畿地区高等学校軟式野球大阪大会　2回戦

●ハンドボール部

平成30年度春季大会北ブロック大会　第4位
平成30年度春季大会中央大会　ベスト12
平成30年度秋季総合体育大会　ベスト16
平成30年度新人大会北ブロック大会　第3位
平成30年度新人大会中央大会　ベスト8
平成30年度　北地区優秀選手　江崎尚翔（2-10）

●サッカー部

全国高等学校総合大会大阪予選　ベスト32
全国高校サッカー選手権大阪予選　ベスト32
高円宮杯U18サッカーリーグ2018　OSAKA　2部　8位

●女子サッカー部

大阪新人サッカー大会　準優勝
大阪春季サッカー大会　準優勝
大阪総合体育大会（女子サッカーの部）　優勝
関西高等学校女子サッカー選手権大会　優勝
全日本高等学校女子サッカー選手権大会　1月3日～

国民体育大会出場
林涼香　根岡陽彩　水江彩乃
高原天音　見矢明日香　竹下奏彩

●男子テニス

大阪高等学校春季テニス大会・団体戦　1回戦敗退
私立高等学校総合体育大会テニス選手権　3回戦敗退
大阪高等学校総合体育大会テニス大会・個人戦
シングルスの部　師玉宇宙　本選出場
大阪高等学校・秋季テニス大会（男子1部）　1回戦敗退

●女子テニス

3月　第40回全国選抜高校テニス大会　2回戦
（シングルスの部）　準優勝　西田賀杏央
（ダブルスの部）　優勝　西田・個ペア
（シングルスの部）　準優勝　西田賀杏央
（ダブルスの部）　優勝　西田・望月ペア
ベスト4　尾西・福居ペア
5月　大阪高等学校春季テニス大会団体の部　優勝
6月　平成30年度　近畿高等学校選抜テニス大会
（シングルスの部）　西田賀杏央　ベスト16
（ダブルスの部）　西田・望月ペア　優勝
（団体の部）　第3位
（新人の部）　福嶋優美香　ベスト4
7月　関西ジュニアテニス選手権大会
（18歳以下シングルスの部）
西田賀杏央　ベスト8
福嶋優美香　2回戦
（18歳以下ダブルスの部）
西田・個ペア　優勝
望月・川上ペア　2回戦
伊丹・金井ペア　1回戦
（団体の部）　準優勝
（シングルスの部）　準優勝　大野愛加
第3位　川上幸夏
（ダブルスの部）　準優勝　福嶋優美香・中司歩伽ペア
8月　平成30年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会（インターハイ）
（団体の部）　1回戦
（シングルスの部）　西田賀杏央　2回戦
（ダブルスの部）　西田・望月ペア　1回戦
全日本ジュニアテニス選手権大会
（シングルスの部）　西田賀杏央　1回戦
（ダブルスの部）　西田・個ペア　1回戦
（シングルスの部）　準優勝　福嶋優美香
（シングルスの部）　ベスト4　川上幸夏
（ダブルスの部）　ベスト4　中司・長内ペア

10月　大阪高等学校秋季テニス大会　準優勝（近畿地区大会出場決定）
11月　第41回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会　第5位
（6年連続8回目の全国選抜大会出場決定）

●卓球部

大阪国際招待卓球選手権大会　高橋竜大　2回戦
大阪高等学校新人卓球大会　シングルス　高橋竜大　ベスト10
第32回近畿高等学校新人卓球大会　高橋竜大　1回戦
第72回近畿高等学校卓球選手権大会　東原萌々花　1回戦
第57回近畿卓球選手権大会　東原萌々花　2回戦
第33回近畿高等学校新人卓球大会　出場決定

●柔道部

平成30年度インターハイ大阪予選―66kg級　ベスト16
平成30年度近畿高等学校柔道新人大会
女子個人戦　出場
女子団体戦　出場

●男子バスケットボール部

第73回大阪高校総合体育大　ベスト16
第69回大阪府商協大会　優勝
第71回大阪高校選手権大会　ベスト16

●女子バスケットボール

第70回大阪高等学校バスケットボール選手権大会　ベスト16
第72回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会　ベスト16
第68回大阪府商協バスケットボール大会　優勝
第64回大阪私立高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会　ベスト8

●男子バレーボール部

平成30年度　春季大会兼大阪高校選手権大会
兼全国高校総合体育大会・近畿大会
大阪1次予選（部別大会）　1部Bゾーン2位　1部残留
大阪2次予選　ベスト20　★近畿大会出場
平成30年度　近畿高等学校バレーボール優勝大会　2回戦敗退
第69回　大阪商業大会　優勝
第65回　大阪私立高等学校総合体育大会
予選第1日目　Bゾーン1位　結果：ベスト8　★近畿私学大会出場

第72回　大阪高校総合体育大会
兼第67回全日本高校選手権大会
大阪決勝ラウンド　1回戦敗退
平成30年度　大阪高校新人大会
1次予選（秋季部別大会）　1部Cゾーン2位　ベスト16
2次予選
第37回　近畿私立高等学校バレーボール選手権大会
予選リーグ　Eゾーン3位
3部決勝トーナメント　2回戦敗退

●女子バレーボール部

大阪府春季大会1次予選会（春季部別大会）　3部優勝（2部に昇格）
大阪府春季大会2次予選会（インターハイ予選）　2回戦
大阪高校総体（春の高校バレー予選）　1回戦
大阪府新人大会1次予選会（秋季部別大会）　2部2位（2部に残留）

●音楽部

8月　高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト「第38回We are Sneaker Ages」出場
11月　「第6回豊中市高校生軽音楽フェスティバル」出場

●ESS部

第47回　高校生英語弁論大会　出場

●書道部

大阪府高等学校書道教育研究会
「第一ブロック高校書道展」
出展　徳永心海、柏谷美月、渡邊早規、藤尾大輝、山崎海斗
第42回全国高等学校総合文化祭長野大会
特別賞　徳永千夏、徳永心海
大阪私立高等学校書道教育研究会
「大阪私立高校書道展」
出展　徳永千夏、柏木梨沙、徳永心海、柏谷美月、渡邊早規、藤尾大輝、山崎海斗
奨励賞　徳永心海
大阪府高等学校書道教育研究会
「大阪府高等学校芸術文化祭書道部門」
入選　徳永心海、藤尾大輝、山崎海斗
奨励賞　柏谷美月
（来年度京都府にて近畿高等学校総合文化祭出展決定）
柏木梨沙、渡邊早規
優秀賞　徳永千夏

●吹奏楽部

第57回大阪府吹奏楽コンクール北摂地区大会
高校生の部小編成　優秀賞
中橋愛生作曲　「水文　吹奏楽のための」
第57回大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会
高校生の部小編成　銀賞
中橋愛生作曲　「水文　吹奏楽のための」
第45回大阪府アンサンブルコンテスト
高校生の部・サキソフォーン5重奏　銀賞
天野正道作曲　「セカンドバトル」
大商学園高等学校×K2　Winds
第6回ジョイントコンサート

●簿記部

第34回　全国高等学校簿記コンクール大阪予選
個人戦　5位
第34回　全国高等学校簿記コンクール
個人戦出場　森　優貴（3-13）

●科学研究部

サイエンス・フェスタ
万博公園　理科実験野外教室（出展）
サイエンス・フェスタ　大阪大会（工作教室）
豊中サイエンスラボいぶき
（科学ショー、体験教室）
吹田市山五地区公民館
（科学ショー、実験・工作教室）
穂積デイサービス（科学ショー、工作教室）
大商学園展（科学ショー、工作教室）
大阪サイエンスデイ（発表）　12/23

●情報処理研究部

第30回　全国高等学校情報処理競技大会 大阪府大会
団体準優勝
個人3位　守家千生（3-4）
第30回　全国高等学校情報処理競技大会 全国大会
個人出場　守家千生（3-4）
第36回 近畿地区高等学校ワープロ競技大会
個人出場　桑折匡祐樹（3-4）
第31回 大阪府高等学校ワープロ新人競技大会
優秀賞　北野智也（2-4）

●ダンス部

第8回全国高校ダンス部選手権（チームダンス）　関西予選出場
第11回日本高校ダンス部選手権
関西予選（ダンススタジアム）出場
豊中祭ダンスコンテスト出場
第4回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル
動画審査通過で関西大会出場

検定合格者

平成29年度 第3回 漢字能力検定試験
（平成30年1月27日）

準2級
1-1
藤田悠太朗
1-3
石川　将吾

3級
1-1
坂本　遼輔　南郷　貴昭
1-3
溝河　由樹
1-7
山崎　海斗
2-8
橋田あみき

平成30年度 第1回 漢字能力検定試験
（平成30年7月5日）

2級
2-5
溝上　克輝
3-3
横木　翔太
3-10
先永　渉

準2級
1-3
酒井　亮
準2級
2-1
衣笠　仁
3-10
大西　彩未
3-11
柴田　莉紗　杉村　真吾　山倉　大輝

3級
1-2
岸本　拓実
1-4
中桐　大智
1-6
足立　歩　穀澤　快
2-1
上松　篤史
2-12
池田　悠人
3-11
山田　雄紀

平成30年度 第2回 漢字能力検定試験
（平成30年11月21日）

準2級
1-1
星宗　孝大　加治　竜雅
1-2
岸本　拓実
1-6
穀澤　快
2-1
水嶋　達郎
2-12
稲壇　匠吾　柏谷　美月　川口　拓眞
溝河　由樹
2-13
渡邊　早規
2-5
阪口　聖斗　西山喜美佳　山下　順也
2-7
山崎　海斗
3-6
福居　詩織

3級
1-1
泉　陸斗　小倉　結芽　岸本　康生
佐々木健太　島谷　憲弥　竹田　芽生
深田　瑞貴　松本　将之　村瀬　悠華
森下萌萌花　森本　翔　山神日奈多
1-2
大田　睦　小笠原伊吹　高木　都雅
竹本　太陽　西尾　凜　米田　匡宗
渡部　優斗
1-3
梅谷　美咲　瓜生　一成　坂本　春菜
新谷　拓海　塚本　康佩　戸田　悠太
藤本　航輝　松本　有未
1-4
佐竹　海音　鶴田　健　二宮　怜也
飄風　蒼太　福原　愛彩
1-5
安谷屋柚斗　池内　唯斗　石丸　慶樹
猪野　伸也　岡本　響　川畑　直人
澤田　嶺矢　杉田　翔　雷銘　由翔
中尾　怜聖　野村　流偉　廣瀬遼太郎
藤家　昂星　山口　眞鳥　和食　敦也
2-4
石丸玖瑠美　北　優芽花　久保　亮哲
高嶋　一斗　松村　一志　夢野凌太朗
2-6
青木　柚香　大野　愛加　小森　咲耶
谷岡　将吾　玉田　陽菜　福嶋優美香
山上慎太朗　渡邊　澪
2-7
今西　輝莉　大上　倖果　角尾　春華
橋橋由稀名　田中健太郎　西ノ　省吾
藤尾　大輝　山下　優
2-8
今城　絢姫　塩澤　亮太　知念　蒼
中井　彩楽　佛圓　就
2-9
太田　詩　大野　瞳月　松下　澄也
三浦　海人　矢野　帆希
2-10
柏村　舜　嶋田　杏　谷　健人
綿引　優斗
2-11
海口　愁斗　岡本　花梨　景山　萌香
柴田　大空
2-12
大窪　海　菊井　玲奈　小松　陽平
櫻井　遥　寺井幸之介
2-13
大町　涼夏　叶地　楓人　中路　梨渚
福田　龍人　前田　育樹　南　茉里奈
林　笑美
2級　速度部門
3-13
田村　新乃
1-13
勝山　桜
2-13
福田　龍人

3級　速度部門
1-13
楠本　友維　佐伯　尊　西山　陽菜
平山　陸斗　藤井　七海　山口　琉輝
渡邊　実　渡辺琳太郎

全国商業高等学校協会主催 第61回ビジネス文書実務検定試験
（平成30年11月25日実施）

1級
1-13
林　笑美

3級
1-13
石田　直也　楠本　友維　佐伯　尊
髙井　怜視　田見　美幸　津田　光輝
西山　陽菜　平山　陸斗　藤井　七海
村上　航基　山口　琉輝　渡邊　実
渡辺琳太郎

3級　文書部門
1-13
赤松　虹希　上田　明孝　下永　璃夢

日本商工会議所主催第148回簿記検定試験
（平成30年2月25日実施）

2級
3-13
森　優貴

日本商工会議所主催第149回簿記検定試験
（平成30年6月10日実施）

3級
2-13
西島　健斗　福田　龍人　南　茉里奈

日本商工会議所主催第150回簿記検定試験
（平成30年11月18日実施）

3級
2-13
上別府藍那　小林　空風

全国商業高等学校協会主催第85回簿記検定
（平成30年1月28日実施）

1級　原価計算
3-13
井上　沙季　榎田　拓巳　岡田　杏梨
富田　隼人　福壽　瞳　米山　鈴香
2級
2-13
上別府藍那　大町　涼夏　叶地　楓人
小林　空風　澤田　明里　寺林　一樹
西島　健斗　西村　翔　福田　龍人
正岡　勇希　南　茉里奈

全国商業高等学校協会主催第86回簿記実務検定
（平成30年6月24日実施）

1級　原価計算
3-13
井手　聖　中村　碧唯　宮澤　駿
2-13
上別府藍那　小林　空風　西島　健斗
福田　龍人　南　茉里奈

全国経理教育協会主催第191回簿記能力検定試験
（平成30年7月8日）

3級
1-13
上田　明孝　楠本　友維　佐伯　尊
下永　璃夢　髙井　怜視　田見　美幸
津田　光輝　西山　陽菜　林　笑美
平山　陸斗　藤井　七海　村上　航基
山口　琉輝　渡邊　実　渡辺琳太郎

全国経理教育協会主催第192回簿記能力検定試験
（平成30年11月25日）

2級　商業簿記
1-13
渡辺琳太郎

第136回珠算・電卓実務検定試験
（平成30年6月17日実施）

1級　総合（珠算）
2-13
南　茉里奈

1級　総合（電卓）
3-13
宮澤　駿　橋爪亮太郎　福壽　瞳
上別府藍那

3級　総合（電卓）
1-13
赤松　虹希　石田　直也　上田　明孝
勝山　桜　楠本　友維　佐伯　尊
下永　璃夢　髙井　怜視　田見　美幸
津田　光輝　西山　陽菜　林　笑美
平山　陸斗　藤井　七海　松本　孝太
村上　航基　山口　琉輝　渡邊　実
渡辺琳太郎

第137回珠算・電卓実務検定試験
（平成30年11月11日実施）

1級　総合（電卓）
2-13
多賀　優衣　原田　妃菜
1-13
勝山　桜　楠本　友維　佐伯　尊
髙井　怜視　田見　美幸　西山　陽菜
林　笑美　山口　琉輝　渡辺琳太郎

1級　ビジネス計算
1-13
上田　明孝　下永　璃夢　津田　光輝
平山　陸斗　藤井　七海　村上　航基
渡邊　実

全国商業高等学校協会主催 第60回ビジネス文書実務検定試験
（平成30年7月1日実施）

1級
3-13
福壽　瞳　岩木　真代

1級　速度部門
1-13
赤松　虹希　上田　明孝　佐伯　尊
髙井　怜視　津田　光輝　林　笑美
平山　陸斗　藤井　七海　渡辺琳太郎

第61回 英語検定試験
（平成30年12月16日実施）

1級
2-13
西島　健斗

2級
1-13
石田　直也

3級
1-13
田見　美幸

2017年第3回 実用英語技能検定

2級
2-1
栗原梨花子　坂本　舜太

準2級
1-1
伊東　岳志　岡　龍信
1-2
稲壇　匠吾
1-4
夢野凌太朗
1-5
松原　直斗
2-1
大寺　淳志　奥田琉莉士　大道　雅治
中村　瑠汰
2-2
西尾　駿亮　吉國　大地
2-3
井田　悠斗　岩元　悠祐
2-5
小嶋　慧　後田　亭一
3-5
柴田将太郎

3級
1-1
森　祐太
1-2
上松　篤史　川添　仁
1-3
武井　李樹　溝河　由樹　宮崎健太朗
村瀬　透和　八記　未宙　渡邊　早規
1-6
西尾竜之介
2-5
西江　琉平　山川　峻典

2018年第1回 実用英語技能検定

2級
2-4
夢野凌太朗
2-5
松原　直斗
3-1
北村　真夕　谷本　悠恬　村田　圭祐
3-3
辰野連太郎　吉國　大地
3-5
片岡　傑　徳村　啓太

準2級
1-1
島谷　憲弥　村瀬　悠華　森本　翔
1-4
宮沢　和那
2-1
上松　篤史　藤田　悠太郎
2-2
川口　拓眞
2-3
佐々木和希　田中　湧也
2-5
辻　祐大　富永　舞
3-1
尾崎　慎平
3-4
遠山　紗希
3-5
川嶋　敦史
3-6
荒尾　広大
3-10
津賀　朝晃
3-11
生駒　美羽
3-13
坂田散久郎

3級
1-1
泉　陸斗　岸本　康生　佐々木健太
竹田　芽生　中尾　まり　星宗　孝大
松本　将之　森下萌萌花　山神日奈多
若林　拓実
1-2
井上　陽紀　大田　陸　奥屋敷彩奈
川端　斗哉　岸本　拓実　堤　樹
西尾　凜　深見　和生　細田　来海
1-3
瓜生　一成　太田　湧生　河合　玲
岸本　凌　酒井　亮　佐多　颯太
田中　尊夫　戸田　悠太　永吉　右京
西田　優人　藤本　航輝　堀井　海斗
榎川ありさ　村上　和真
1-4
佐竹　海音　長　依吹　二宮　怜也
2-6
伊藤　七海

2018年第2回 実用英語技能検定

2級
2-1
伊東　岳志　田上　裕堂
2-2
稲壇　匠吾
3-1
中岡　亮太
3-5
松内　達哉

準2級
1-1
小倉　結芽　加治　竜雅　中尾　まり
2-1
大倉　颯司　南郷　貴昭
2-2
猪野　栞音　高嶋　海帆　溝河　由樹
宮崎健太朗　湯浅　未唯
2-4
久保　亮哲
2-5
有木　壮太　塩野　雄大　トゥエロス　サラ
安井　遥
2-13
西島　健斗　南　茉里奈　山本 ジュビディアー樹音
3-1
樋渡　創志
3-6
濱田　恭晴　福居　詩織
3-7
楠橋　加織　田中　大成

3級
1-3
吉武　諒
2-2
西田　陽生

全国商業高等学校協会主催 第58回情報処理検定試験
平成30年1月21日実施

1級　ビジネス情報部門
3-4
宇田川光太郎　梅園　大地　勝田　悠真
小北　翔吾　中島　里　山口　太地
2-4
安達　凱永　北　優芽花　松村　一志
夢野凌太朗

1級　プログラミング部門
3-4
泉　太喜　高橋　裕一　遠山　紗希
2-4
安達　凱永　北　優芽花　高嶋　一斗
峯松　涼　三宅　一輝　夢野凌太朗

2級　ビジネス情報部門
2-4
北　優芽花　林　隆弘
2-13
石井久莉亜　稲岡　叶羽　上別府藍那
大町　涼夏　叶地　楓人　日下部亜弥
小林　空風　澤田　明里　山藤　怜魅
寺林　一樹　土井　雪帆　西島　健斗
福田　龍人　前田　育樹　南　茉里奈
岩本　真代

2級　プログラミング部門
2-4
石丸玖瑠美　横山　大樹

全国商業高等学校協会主催 第59回情報処理検定試験
平成30年9月23日実施

1級　ビジネス情報部門
3-4
牛田光季音
3-13
井上　沙季
2-4
高嶋　一斗　横山　大樹

1級　プログラミング部門
2-4
石丸玖瑠美　佐野　澪士

2級　ビジネス情報部門
1-5
安谷屋柚斗　荒井　大祐　池内　唯斗
石丸　慶樹　猪野　伸也　尾崎　勇
澤田　嶺矢　杉田　翔　鈴木　翔太
野村　流偉　廣瀬遼太郎　藤家　昂星
松本　青空　山口　眞鳥

2級　プログラミング部門
1-5
安谷屋柚斗　荒井　大祐　池内　唯斗
石丸　慶樹　猪野　伸也　尾崎　勇
小林　颯雅　杉田　翔　野村　流偉
廣瀬遼太郎　藤家　昂星　松本　青空
和食　敦也

3級
1-13
石田　直也　上田　明孝　勝山　桜
楠本　友維　佐伯　尊　下永　璃夢
髙井　怜視　田見　美幸　津田　光輝
西山　陽菜　林　笑美　平山　陸斗
藤井　七海　村上　航基　山口　琉輝
渡邊　実　渡辺琳太郎

第112回情報処理技能検定試験（表計算）
（平成30年2月25日実施）

2級
2-13
淺田　洸　石井久莉亜　稲岡　叶羽
上別府藍那　大町　涼夏　叶地　楓人
日下部　亜弥　小林　空風　澤田　明里
山藤　怜魅　多賀　優衣　高井　敬太
寺林　一樹　土井　雪帆　中路　梨渚
西島　健斗　西村　翔　羽田　愛海
福田　龍人　前田　育樹　三上　樹里
南　茉里奈　山内　愛未　山本 ジュビディアー樹音

第113回情報処理技能検定試験（表計算）
（平成30年7月8日実施）

1級
2-13
上別府藍那　大町　涼夏　叶地　楓人
小林　空風　澤田　明里　寺林　一樹
土井　雪帆　中路　梨渚　西島　健斗
西村　翔　福田　龍人　前田　育樹
三上　樹里　南　茉里奈　山内　愛未

準1級
2-13
木村　宗嗣

平成30年度 第32回商業経済検定

第1級　経済活動と法・マーケティング部門
3-11
村上　維信

第2級　マーケティング部門
1-13
大町　涼夏　叶地　楓人　小林　空風
澤田　明里　西村　翔　南　茉里奈
2-13
森　優貴
3-11
大鹿　洋希

第3級　ビジネス基礎部門
1-13
淺田　洸　石井久莉亜　上別府藍那
大町　涼夏　叶地　楓人　木村　宗嗣
日下部　亜弥　小林　空風　澤田　明里
山藤　怜魅　多賀　優衣　高井　敬太
寺林　一樹　土井　雪帆　西島　健斗
西村　翔　羽田　愛海　福田　龍人
前田　育樹　三上　樹里　南　茉里奈
山本 ジュビディアー樹音
2-13
森　優貴

第41回ニュース時事能力検定試験

3級
3-6
荒尾　広大　市東　翔　伊藤　航希
川上　陽捺　黒谷　純平　綱縞みつき
副田　涼太　高勢　陸哉　瀧川　颯太
竹井　帆波　田中　藍巳　成田　亜実
西村　亮哉　根間　陽彩　波多江　蛍
林　涼香　日野くるみ　的場　望杏
水江　彩乃　宮口　海　森口　聖矢
芳賀　啓大
3-7
安部　勇一　石岡　柚太　岡野　敬史
岡村　優希　谷添　未空　谷名　岳
橋田　あみき　平田　快翔　廣川　柊二
堀井　雅生　前田　茅人　宮城　力也
山口　智也　横山　航大
3-8
浅野　有哉　有村　裕真　石本　祐規
伊添　渓　今村　廉　叶　郁弥
佐久原　陸　清水　駿　恒吉　孝太
中田　晃誠　本場 健人アントニオ　森田　直輝
山本　蒼
3-9
池田　尚基　出口　竜　岡本　ほの香
上林　優貴　小林　亮介　酒井　瑞生
中島　琉偉　宮城　あい　宮西　凌也
3-10
池田　直輝　印藤　美雪　江本　拓矢
金谷　葉月　吉川　成斗　木場　朱音
坂本　優奈　先永　渉　鈴木　大翔
樋口　愛梨　広永　倩　村松　弥月
森田　祐一　若林　秀明
3-11
安東　あかり　安養寺　浩仁　井上　岳
内田　杏優　岡崎　怜　加藤　亮太
杉村　真吾　竹原　輝莉　田中　悠希
遠矢　凪沙　渡嘉敷　尚也　古川　央章
宮野　有乃　向井　駿　山下　未菜
3-12
秋月　諭　黒田　陸孔　小松　祥悟
高橋　大空　高橋　優矢　西村　春輝
桝谷　直央　三上　潤一郎　吉川　直樹

第43回ニュース時事能力検定試験

3級
2-1
伊東　岳志　上松　篤史　岡　龍信
衣笠　仁　坂本　凌輔　佐々木涼也
中田　光祐　藤田　悠太朗　見尾谷　悟
水嶋　達郎　村田　楓馬　渡辺　修司
2-2
蟻義　悠斗　一色　創志　稲壇　匠吾
猪野　栞音　井上　涼　柏谷　美月
鎌田　瑞玖　川口　拓眞　坂井孝太郎
坂田　章野　高嶋　海帆　高橋　美輝
西江　勇人　西田　陽生　花井　涼
平山　竜也　溝河　由樹　村瀬　透和
森垣　直也　八記　未宙　湯浅　未唯
2-3
石川　将吾　伊野　綾花　大野　夏鈴
川添　仁　川野　凱史　岸　涼介
曽　杏香　近藤　陸　鈴木　愛
武井　孝樹　田中　湧也　田村　颯人
徳永　心海　中嶋愛衣奈　中山　侑哉
長谷村祐樹　藤田真次郎　古住　志穂
渡邊　早規
2-4
安達　凱永　石丸玖瑠美　岩田　槙斗
國部　葵　久保　亮哲　佐野　澪士
白石　春翔　住谷駿太朗　高嶋　一斗
濱名　亮　藤田　歩夢　松村　一志
山本　悠斗
2-5
有木　壮太　奥村　昂斗　小田　知輝
門脇　蓮　川野　蓮　久保　拓矢
倉永　廉太朗　阪口　聖斗　塩野　雄大
中西　晴海　西山喜美佳　原園　和希
松本　佳奈　三阪　優輝　溝上　克輝
宮川　翼　安井　遥　山下　順也
四谷　凌平
2-6
青木　柚香　青木　里苑　金子　洸大
北田　琴理　小牧　佳奈　咲耶
清水　楓華　下村　遥大　田尻　梨桜
谷岡　将吾　玉田　陽菜　恒石　亜弓
恒石　亜弓　中附　勇斗　福田　陽菜
堀野　将矢　松尾　聖斗　山上慎太朗
渡邊　澪
2-7
今西　輝莉　大上　倖果　大槻絲那乃
角尾　春華　金子　陽　橋橋由稀名
下山　銀斗　園田　瑞輝　田中健太郎
西ノ　省吾　新田　孝美　比嘉　佑斗
藤尾　大輝　森田　悠介　山崎　海斗
山佳　充吾　吉田誠史郎
2-8
井本　楓真　大村　享佑　岡田　一真
河本　涼希　グタラ竜鐘　郷木　暁
佐原　里佳　塩澤　亮太　中井　彩葉
中村　杏佑　藤田　大空　佛圓　就
矢野　巧　山口凛太朗　山本　士琳
2-9
大野　瞳月　奥田　大翔　田尻　遥己
辻本　麻実
2-10
池田　陸世　井上　萌香　大住　紗代
柏村　舜　菊池凜太郎　嶋田　杏
下田　優斗　高原　天音　田中万梨乃
谷　健人　中島　勘太　藤岡　隼太
松本　唯吹　綿引　優斗
2-11
海口　愁斗　岡本　花梨　景山　萌香
田中　花
2-12
小松　陽平　櫻井　遥　廣田　和也
山本　佳宜
2-13
上別府藍那　大町　涼夏　日下部亜弥
小林　空風　澤田　明里　山藤　怜魅
多賀　優衣　高井　敬太　寺林　一樹
土井　雪帆　中路　梨渚　西村　翔
羽田　愛海　福田　龍人　前田　育樹
南　茉里奈　山内　愛未

選手権大会を終えて　女子サッカー部

Womens' Soccer

3年6組　林　涼香

3年生にとって集大成となる最後の全国大会、このチームでの最初で最後の全国大会が終わりました。まずは、今まで本当にたくさんの応援ありがとうございました。3年間を通してたくさんの支えがあり、サッカーができたことに感謝しています。だからこそ、自分たちは最高の結果で恩返ししよう、それが自分たちのやるべき事だと思ってやってきました。しかし、1年間を通して思うような結果も出せず最後もとても悔しい結果で終わってしまいました。3年間、たくさんの経験をさせてもらいましたが一番悔しい戦となりました。日本一ということが本当に簡単に成し遂げられることじゃないということを改めて感じさせられました。チーム力だけ、頑張ることや運、技術など何か一つ優れたものがあるだけでは日本一は届かない。本当に全てにおいて日本一の取り組みをして、追求し続け、日本一にふさわしいチームがなれるものだと思いました。この結果で終わり、たくさんの後悔があります。しかし結果までの過程の中で自分の納得いくような取り組みができたら後悔はなかったかもしれません。結果も大切だけど、それまでの過程がどれだけ大切なのか感じました。それがここぞという時の自分の自信に繋がるということも学びました。だからこそ、今できることを今、全力でやることが大切です。

3年間の高校サッカーは終わってしまいましたが、新しいそれぞれの場所で新たな仲間と新たな目標に向かって進み続けます。この結果を全て糧としてこれからの人生に活かしていきます。また、1、2年生はここから新たなスタートとなります。選手権の時に感じたようにたくさんの人が応援してくれているチームでした。一から見直し、徹底し続けて、さらに応援したくなるようなチームを作ってほしいです。皆が心の底からこのチームだから勝ちたいと思うようなチームを作ってほしいです。そして、日本一という目標を成し遂げてほしいです。

このような結果で私の高校サッカーは終わりましたが、大商学園で高校サッカーができたことは私の誇りです。今まで本当にたくさんの応援ありがとうございました。

6年連続8回目の全国選抜高校テニス大会への出場を決めて　女子テニス部

Womens' Tennis

2年6組　尾西　優愛

私たち女子テニス部は、3月20日から福岡県博多の森テニス競技場で開催される第41回全国選抜高校テニス大会に出場させていただきます。

新チームは2年生7人、1年生2人という少人数のスタートとなりました。大阪予選では決勝で敗れ第二代表として近畿大会に臨むこととなり、11月に行われた近畿大会においても大切な場面で接戦をものにすることができず、5位という結果に終わりました。チーム全員の気持ちが一つになり何とか全国大会への出場権は得ましたが、悔しさと課題が多く残る大会となりました。

この大会を機に、一人一人が一から心構えを変え、更にレベルアップ出来るように、コート以外の姿から改めて見つめ直し、細かい所まで徹底していこうという取り組みをしてきました。しかし隙なく取り組めないことも多く、チーム全員で何度も話し合いをしました。その度に、チーム力が向上してきたと感じています。少ない人数だからこそ取り組めた事もあり、お互いを高め合うことも出来ました。

3月にテニスの聖地博多で開催される全国大会では、今まで取り組んできたことを、この大舞台で全てを懸けて発揮し、チーム一丸となり頑張ります。私たちのスローガンである「感謝の心」「粘りのテニス」を胸に、一戦一戦全力で戦います。

私自身は、5月に怪我をしてチームのみんなにたくさん迷惑をかけてきました。この怪我を乗り越えられたのも仲間がいたからであり本当に感謝しています。一つでも多く勝利を重ねチームの勝利に貢献出来るように頑張ります。そして、近畿大会では持って帰ることのできなかったメダルを今回こそは持って帰ります。今までお支えくださった、顧問の先生、コーチの方々、トレーナーさん、家族に感謝の気持ちを込めて結果で恩返しができるように、残り少ない日々を大切に過ごしていきたいです。

2年連続近畿大会出場　男子バレーボール部

Men's Volleyball

3年6組　市来　翔

男子バレーボール部は近畿大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。練習では常にムードをよく保つことを心掛けて、チーム全員が一つになって練習しています。私たちは他のチームより平均身長が低く高さでは不利な分、攻撃面ではスピードを意識したコンビネーションバレーの技術を磨いています。そして守備の面では、どんなボールでも繋いで粘るチームを目指しています。

6月に行われた近畿大会大阪予選では2年連続近畿大会出場というプレッシャーの中、挑みました。1回戦から3回戦は順調に勝ち進み、近畿大会出場をかけ、桃山学院高校と対戦しました。1セット目28−30、2セット目20−25と惜しくも敗れてしまいましたが、敗者復活戦で2勝し、近畿大会出場の目標を達成しました。

昨年の近畿大会では1回戦敗退したので、今年は昨年よりよい結果を目指し、日々の練習を頑張りました。その結果、1回戦は兵庫県代表の西脇工業高校に2−0で勝ち抜くことが出来ました。しかし2回戦で大阪第2代表の清風高校との対戦となり敗退しました。昨年より、よい結果を近畿大会という大きな場で残すことができ、自分たちにとってとても大きな自信に繋がりました。

このことは、今後の私たちの人生に良い影響を与えてくれるものだと確信しています。一緒に戦った仲間や応援していただいた先生方、友達、そして家族に感謝しています。応援ありがとうございました。

近畿選手権大会出場!!　卓球部

Table Tennis

3年10組　東原　萌々花

5月に行われた大阪高校選手権大会（女子シングル）は、4回戦までは順調に勝ち進み、5回戦は精華高校に3対2と勝利してベスト16に入ることができ、7月に行われる近畿大会出場が決まりました。続く6回戦では、全国大会優勝校の四天王寺高校と対戦し、優勝校の壁は厚く、競い負けてしまいました。

近畿大会に向けて練習に励み、他府県の高校と練習や試合をして強化を図りました。そして迎えた7月、滋賀県立体育館で近畿大会は開催されました。ところが、1回戦の龍谷大平安高校に2対3と激戦でしたが惜敗。お互い粘り強いプレーで、実力的にはそれほど差がなく、集中力と精神面での戦いでした。9月に行われる近畿選手権大会に推薦選手としての出場が決まり、大会に向けて、さらに強化しなければなりません。そのために、練習メニューを見直し、近畿大会での課題をなくしていきました。

9月の近畿選手権大会。1回戦は社会人との対戦でした。3対1と自分のプレーを出すことができ勝利しました。2回戦では関西学院大学と対戦し、0対3と圧倒的な強さを見せられました。しかし、近畿大会までとは違い、自分のプレーを出し切ることができ、努力を重ねてきた結果、成長を感じられました。こうした経験に、残りわずかな大会に向けて気を引き締めて今まで以上に努力し結果を残していきたいです。

そして3年生男子は、6月に行われた選手権高校対抗の近畿決定戦で、1度負けている精華高校と対戦し、ポイント2対2の次に勝った方が勝利となる場面で接戦となったものの負けてしまい幕が下りてしまいました。しかし、全員がその舞台を目指し毎日の練習を必死に取り組み、1年時よりも格段にレベルアップしていました。その中でも高橋竜大君（3年生）が大阪選抜予選でベスト3に入るなどの成績を残しています。

残った1、2年生は、団体で敗者復活戦で勝ち上がりベスト10に入ることができ、またシングルでは横山祐太君（1年生）がベスト16に入り近畿大会出場が決まりました。私と高橋竜大君（3年生）と横山祐太君（1年生）は、2月に開催される大阪国際招待卓球選手権大会に推薦選手として出場します。悔いのないように大会に向けて頑張ります。

全国高等学校総合文化祭長野大会、姉妹で特別賞受賞!!　書道部

Calligraphy

3年3組　徳永　千夏

私は長野県で開催された「第42回全国高等学校総合文化祭」に大阪府代表として参加しました。私のグループはどこよりも賑やかで、終始笑いの絶えない空間が出来上がっていたと思います。同じ目標を掲げて頑張っている仲間の存在を知り、また繋がれたことは、私にとって貴重な経験となり、その後の作品制作の糧にもなりました。

作品鑑賞では、関西では見かけない書風の作品や、同じ府代表として選出された仲間のグレードアップした作品にとても感動しました。同じ作品でも書き手によって書風が変わる書の面白さにも触れることができ、有意義な時間でした。

2日目の講評会では、書き手の思いや、審査員の方のコメントはとても勉強になるものでした。

今回、私は妹と共に特別賞を受賞することができました。このことを目標に長い間作品制作をしていたので、これ以上にない喜びでとても嬉しかったです。今回の経験は私にとって一生の思い出であり、これからへの自信にもなりました。この自信を胸に、これからも努力を惜しまずに前に進みたいと思います。支えてくださった皆さん、応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

2年3組　徳永　心海

私は長野県で開催された「第42回全国高等学校総合文化祭」に大阪府代表として姉と共に参加しました。全国の生徒の皆さんとの交流会もあると聞いていたので、とても緊張していました。

1日目、松本美術館に向かうと、約三百点もの作品が展示されていました。どの作品も技術レベルが高く、また構成や表具にも工夫を凝らした素晴らしい作品ばかりでした。交流会では、地元長野県の高校生に教えてもらいながら水引細工を体験しました。初めての体験だったので難しかったですが、段々と慣れてくると綺麗に作ることが出来ました。その後は木製コースターに自分の好きな二字をみんなで語り合いながら書きました。とても緊張していましたが、長野県の高校生スタッフや同じ班の人が気軽に話しかけてくれたので、とても楽しい時間となりました。

2日目、講評会では様々な作品がピックアップされ、丁寧な講評を聞くことができました。創作においてはなぜその詩文を選んだのか、どんな気持ちで書いたのかなど心情面も知ることができ、とても良い勉強になりました。

今回、私は姉と共に特別賞を受賞することができました。受賞するとは思ってもいなかったので、名前が呼ばれた時は本当に嬉しかったです。来年は高校最後の芸術文化祭、最優秀賞を目標に、最後まで諦めず頑張っていきたいです。

全国大会出場!!　情報処理研究部

Information Processing

3年4組　守家　千生

第30回全国高等学校情報処理競技大会大阪府予選大会で大阪府代表選手の枠を勝ち取り、7月に千葉県の明海大学で行われた全国大会に出場を果たしました。大会前日から東京に移動しホテルで勉強の最終確認をし、当日に臨みましたが、やはり全国ともなると簡単にはいきません。周りは予選を勝ち抜いた猛者ばかり、そして目の前にあるのは予選とは比べ物にならない難度の問題。しかし、ここで諦めては予選で散っていった部員達に顔向けできません。今までの勉強の成果を全て出し切るつもりで挑みました。結果としては大会出場者の真ん中あたりの順位となりましたが、昨年や予選でのミス改善し大会本番で活かすことができたので良い経験になったと考えています。毎年、この全国大会に出場することを目標に活動していますが、ここ数年は大阪府予選を団体として突破することができず今回も個人出場になってしまったのは非常に悔しいことであると考えています。しかし、私達現3年生の出場チャンスはもうなくとも優秀な次期3年の後輩達に任せようと思います。これからも情報処理研究部の活躍に期待していただけると幸いです。

近畿新人柔道大会出場!!　柔道部

JUDO

2年6組　谷口　愛佳

今回、近畿新人柔道大会に出場させていただくことになりました。去年も出場させていただき、しかし去年の試合では自分たちの納得のいく試合ができず悔し涙を流しました。その涙をバネに、今年の大阪予選で近畿大会出場の切符をなんとか手にすることができ、やっと去年のリベンジを果たすことができる舞台に立つことができます。この舞台に立つことが私達柔道部の第一目標でした。この目標のために日々朝練や午後の練習に取り組んできました。しかし、最終的な目標はインターハイ出場です。インターハイ出場にはこの近畿大会がすごく大事です。なので一戦一戦自分達が今まで積み重ねてきた練習を出し切り、去年のような涙ではなく、喜びの涙を流したいです。

決して自分達だけのために戦うのではなく、日頃厳しく時に同じ目線になって話しを聞いてくださり、共に柔道をしながら指導してくださる寺田先生、夜遅くまでご飯や洗濯をしてくれ、優しく見守ってくれていた両親、日々辛い時も嬉しい時も一緒に過ごした仲間の思いを背負って試合に臨みたいと思います。応援よろしくお願いします。

第四回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル関西予選出場!!　ダンス部

Dance

3年9組　岡野　民

私たちダンス部は、9月23日に行われた『第四回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル関西予選』に出場しました。この大会では8月にビデオ審査を通過した22チームが横浜で行われる全国大会を目指し、上位4枠を争いました。

夏の大会では全力を出し切ったものの、他校の演技には及ばず、2度の予選敗退を経験しました。先輩が引退してから、みんなの気持ちが一つにならず、揉め事もたくさんありました。部員は4人になり、それでも全国大会という目標を目指し続けました。それまでの練習内容を見直し、改善して毎日精一杯練習をしました。夏のトレーニングは暑さとの戦いで、何度も心が折れそうになることもありましたが、いつも部長の『頑張ろう!』という言葉に励まされていました。冬は寒さで体が動かず、入念にストレッチをしたり、部活前にピロティダッシュなどをして体を温めたりと色々な努力はしましたが、体を痛めてしまうこともありました。そんな私たちに先生方は、より良くなるようにと、2年生の持先輩方は、ニュアンスの精練をりさテストをしたがまた冬国大関日行ま国し大関日行ま国し大関日行ま国し

International exchange
国際交流

＜オーストラリア語学研修：３年11組　生駒　美羽＞

私は中学生の頃、英語ができませんでした。しかし、高校に入学して少し英語が分かるようになり、英語の面白さに気づき英語が好きになりました。そして私は、語学研修があることを知りました。英語に興味があり、ALL ENGLISH の世界を体験したいと思い、高校1年生の時に語学研修に参加しました。

語学研修では1人につき一家の家庭に入り、2週間一緒に過ごします。外国なのでもちろん毎日英語でコミュニケーションをとります。しかし、なかなか自分が思っているようにうまく伝える事ができなかったり、ホストブラザーやホストファミリーの言っている事を理解することができず、毎日辞書が欠かせず、もっと勉強しておけば良かったと後悔していました。しかし、語学研修の後半には少し何を言っているのか理解できるようになったり、言いたいことを言い、それが伝わった時はとても嬉しく、もっと喋りたい!と思うようになりました。私は2年後にもう一度参加し、1年生の時より喋れるようになり、もっとたくさんの人とコミュニケーションをとると決めました。

1年生の時の経験を生かし、2年生の時にホストブラザーの受け入れをしました。ホストブラザーの受け入れをするまでに、英語に関する検定を積極的に受けたり、ENGLISH ROOM などに参加したりしていました。そして今まではあまり気にしていなかった発音を気にするようになりました。そのおかげで、1年生の時よりホストブラザーと上手くコミュニケーションをとる事ができました。

3年生になり、1年生の時のリベンジをするために、今年の夏もう1度語学研修に参加しました。1年生の時に経験できない事がたくさんできました。例えば、マゼノド高校の全校生徒の前で英語でスピーチをしたり、私のホストブラザーが主催したパーティーに大商生と大商生のホストブラザーを招き、映画の中のような外国でしか味わえない経験ができたり、前の自分より根拠のない自信が少しつき、積極的にたくさんの人に話しかけ、コミュニケーションをとることができました。そして、今回の語学研修に参加し、私は夢を見つけました。そのために春に1ヶ月日本語のアシスタントをさせてもらいます。

この語学研修では学ぶ事がたくさんあると思います。言語や文化だけでなく、自分の考え方や人に対する考え方、そして何より自分の世界が広がります。前まではなかなか挑戦しなかったことに挑戦してみたり、興味がなかったことに興味を持ったりします。英語に興味があり、自分の世界を広げたい人はぜひ語学研修に参加して欲しいです。

＜韓国　ヨンアム高校との交流：２年１組　南郷　貴昭＞

韓国にあるヨンアム高校と大商学園高校で合同交流会が本校で行われました。多くのヨンアム高校の生徒が日本語や日本に興味をもって来てくれました。韓国交流会は食堂で行われましたが、その前にはもう着いていて、色々なクラスを回り一足先に交流をしていました。ヨンアム高校の生徒には日本語を話せる人が結構いて、とても楽しく会話ができました。食堂では多くの大商生が参加してお互いが積極的に話し合ってとても順調に物事が進んでいきました。お互いの学校を紹介するために、プロジェクターを使い、ヨンアム高校の紹介映像を見ました。少しトラブルがありましたが、スムーズに見ることができました。映像を見ているときはヨンアム高校の生徒も大商学園高校の生徒も静かに見ていました。ドローンを飛ばしてヨンアム高校全体を映したり、毎年どのような行事をしているかなど、字幕のある部分は日本語で書かれていました。映像が終わると、大きな拍手が起こり、その後は話したりジェンガをして遊んだりしました。

生徒だけでなくヨンアム高校の先生もいっしょに話したりしました。その時、ヨンアム高校の先生は色々な質問をしてきました。その質問を受けていると、「自分はこのことについてあまり知らないな」と思うような質問もされ、「こういう時には知っていないと困ることもある」ということに気付かされました。

結構打ち解けてきたと思っていると、そろそろヨンアム高校の生徒と先生をバスが迎えに来るというので、みんなでお別れの挨拶をしました。その時にお互いの学校からプレゼントを交換しました。ヨンアム高校からは個人的なプレゼントを持ってきている人もいました。ちなみに僕らがもらった物は韓国海苔です。彼らのバスが来るので、みんなで門の前で記念撮影をして少し話しているとバスが来てしまいました。次々とバスへ乗っていきますが、最後にハグやちょっとしたおふざけをしている生徒もいました。全員がバスに乗ると、お互いに見えなくなるまで手を振っていました。中には、走っていくバスをスリッパの状態で走っていく生徒もいました。もちろんすぐに戻ってきています。バスが見えなくなると、みんな帰るために食堂に戻り、韓国海苔を持って帰りました。

最後には残った飲み物やお菓子を生徒に配り、プロジェクターや片づけを先生と生徒でして交流会を終わりました。

大商学園高等学校展

11 月 4 日（日）、千里中央にある豊中市文化センター「コラボ」で大商学園高等学校展が実施され、約 260 名の方々が来場されました。

コラボ1階の多目的スペースに、美術や書道などの授業作品や文化祭で優秀であった作品と、文化部を代表して美術部、書道部、写真部、図書部の作品が展示され、来場者を魅了していました。科学研究部は偏光板を用いた工作教室を開き、光が進む仕組みをわかりやすく解説していました。

また、直前の 10 月に再整備されたばかりの「コラボ」前の広場では、吹奏楽部、ダンス部、科学研究部のショーが行われ、大勢の人々が足を止めて観覧されていました。

生徒会の取り組み

今年度、生徒会では基本の活動である「朝の小学生見守り運動」「生徒会新聞」「年間行事運営」に加えて、エコキャップ運動に取り組みました。「ペットボトルのキャップをワクチンに変え、たくさんの子ども達を助けよう」という執行部の意志が伝わり、全校生徒はもちろん教職員も巻き込み、各所に設置したカゴには続々とキャップが集まりました。

現在までのキャップの総重量は約 31kg。60 人分のワクチンを作る事に貢献出来ました。この取り組みを通して、改めてゴミの分別の大切さや、大勢の方の協力を得られる事の嬉しさを実感しました。また、普段の活動もより熱心に取り組めました。いざ始めると大変さもありましたが、良いスタートが切れたのではないかと思います。

これからも、校内外の様々な挑戦で活動の可能性を切り開いて行きたいと思います。

ボランティアバス

私は、3年間夏休みに東北ボランティアに参加し、山田町と陸前高田市を訪れました。

初めて被災した街に到着したとき、私たちの目の前にはまっさらな土地が広がっていました。津波による被害は私たちの想像をはるかに超えるものであったのです。

現地の高校生と交流した際には、当時のとても生々しい体験談を聞くことができました。親や兄弟、親せきを亡くした彼らは心に傷を負い、それは私たちには計り知れないほどのものです。しかし、自分たちの将来をしっかりと考え、同年代とは思えない頼もしさを感じました。

今では、少しずつではありますが家や商業施設も建ってきており、町はほとんど蘇りました。それでもなお、一瞬にして大切な人を亡くした人々の心の復興には、まだまだ時間がかかります。私は、このボランティアでの経験を通して、人と人とのつながりの強い町づくりの必要性を痛感し、大学で町づくりについて学ぼうと受験勉強を続けています。

3年5組　柴田　将太郎

大商学園高等学校

所在地：大阪府豊中市利倉東 1-2-1
ＵＲＬ：http://www.daisho.ac.jp/
Twitter　@Daishogakuen_HS